

新ましこ未来計画推進シート

基本目標	風土に根ざした産業をつくる			
成果指標	町内総生産	本年度目標値	540億円 (H26)	現状値 507.4億円 (H26)
成果指標	(当初町民税課税標準額の所得金額合計額)	本年度目標値	272億円	現状値 269億円 (H27)
四半期	基本目標における当該期の実施内容・成果の総括			
	次期四半期以降への方針(第4四半期では、次年度の方針)			
	基本目標の成果指標を、町民税の当初課税に係る課税標準額とし検証を進めていくことと考えた。すでに町民税の課税はされているが、27年所得の詳細なデータについて7月下旬に報告される予定である。 政策1 KPIである新規就農者数(累計9人)、担い手集積率(36.7%)の27年度実績は、目標を上回り順調である。 各施策の事業では、認定農業者が161名となり前年より4名の増となった。畑地帯総合整備事業の説明会開催、集落営農組織の法人化は生田目地区の説明会計画等を進めている。 また、道の駅ましこの整備、オープンに向けての準備を進める各種打合せ会等を開催した。 政策2 KPIである起業支援補助金利用件数(累計10件)、空き店舗利用件数(累計5件)の現在までの実績は、目標を上回り順調である。しかし、有効求人倍率については、28年2月に0.62をピークに現在0.43まで下がっている。 政策3 KPIである観光客入込数(196万人)、観光客宿泊数(21,337人)、外国人宿泊者数(643人)の27年実績は、目標を上回るなど順調である。また、春の陶器市では前年より56,800人の増となっている。 各施策の事業では、ワイファイの環境整備で33店舗設置、多言語パンフレットの発注、免税店・クレジットカード取扱店説明会を企画(8月下旬2回)、町長等米沢市長訪問(121号線観光ルート)など実施した。 宿泊プログラム、レンタサイクル事業など新規事業については、検討中である。			
第1	各施策の事業では、益子国際工芸交流館事業で公募作家の募集開始、地域雇用創造協議会事業など継続事業については順調であるが、新規事業については、準備段階や検討段階であり成果や効果が出るに至っていない。 特に、新規事業については、先進地事例を参考にするなど、益子ならではの制度設計及び事業推進に努める。			

新ましこ未来計画推進シート

基本目標	風土に根ざした産業をつくる			
成果指標	町内総生産	本年度目標値	540億円 (H26)	現状値 507.4億円 (H26)
成果指標	(当初町民税課税標準額の所得金額合計額)	本年度目標値	272億円	現状値 269億円 (H27)
四半期	基本目標における当該期の実施内容・成果の総括			
	次期四半期以降への方針(第4四半期では、次年度の方針)			
	当初町民税課税標準額の所得金額合計額については、平成26年が265億8千万円で平成27年が269億3千万円となり3億5千万円の増となった。内訳で給与所得が2億3千万円の増、営業所得が1億円の減、農業所得が9千万円の増、その他所得が1億1千万円の増である。 政策1については、K P I の担い手集積率、9月末現在で37.2%であり、27年度実績(36.7%)から0.5%の増である。また、新規就農者数は、累計で10名である。 各施策の事業では、認定農業者が9月末現在162名となり今年度1名の増である。小泉・本沼地区畑地帯総合整備事業推進協議会の開催、西谷地区土地改良事業説明会の開催、池袋及び宇都宮で開催された新規就農者相談会への参加、農地バンク制度に関するアンケート調査の検討を進めている。 また、道の駅ましこの整備では一部外構工事を残し完成、オープンに向けての準備を進めている。			
第2	政策2については、K P I の起業支援補助金利用件数(3件、累計12件)、空き店舗利用件数(1件、累計5件)で順調である。有効求人倍率については、28年5月に0.40と下がったが現在0.46である。なお就業地別求人倍率は0.57である。 各施策の事業では、益子国際工芸交流館事業の公募作家で2名の決定、地域雇用創造協議会事業で現在の就業者数26名である。その他インキュベーションセンターの視察、デザイン事務所と新商品開発に向けた打合せ、英国販路拡大事業打合せ、雇用支援奨励金制度要綱内容検討など進めている。 政策3については、K P I の上期実績で観光客入込数(101万人)、観光客宿泊数(12,875人)、外国人宿泊者数(233人)であり、前年同期比較で観光客入込数8万人、宿泊者数4,738人の増、外国人宿泊者数で170人の減である。 各施策の事業では、平成館改修設計案の作成、免税店・クレジットカード取扱店化研修会開催(21事業所、30人)、関東広域圏観光周遊ルート形成事業申請、体験型外国人メディアツアーの発注など進めている。			
	政策1については、新たな農地バンク制度に向けたアンケート調査の実進を進めるとともに、新制度の農業委員及び農地利用最適化推進委員の活動内容と事業推進の検討を進める。畑地帯総合整備事業は、今後の営農計画を検討し、事業の必要性を理解していただけるよう努める。道の駅オープンに万全を期すとともに新たな課題等に対し対処する。また、引き続き新商品の開発、顧客ニーズの把握、農家の農産物生産出荷意欲の向上、全国に道の駅ましこの情報発信を進めるとともにコンシェルジュの資質向上に努める。 政策2については、引き続き益子焼をとおう条例の検討、ブランド商品認定制度の確立、雇用支援奨励金制度の検討を進めるとともに、デザイン事務所と新商品開発に向けたスケジュール管理などを行う。 また、町内企業のハローワーク利用促進、各種スキルアップセミナーの開催と募集強化、各地で開催される就職説明会に関する情報収集及び発信に努める。 政策3については、平成館改修工事の発注、体験型外国人メディアツアーの実施(11月末を予定)、関東広域圏観光ルート形成事業内容の検討、留学生ツアー事業の実施(2月末を予定)に向けた調整、かしましこマップの内容検討、新規益子大使の委嘱に向け予定者との交渉・調整、道の駅と連携し観光客のニーズにあった観光情報発信などを進める。			

新ましこ未来計画推進シート

基本目標		風土に根ざした産業をつくる			
成果指標	町内総生産	本年度目標値	540億円 (H26)	現状値	507.4億円 (H26)
成果指標	(当初町民税課税標準額の所得金額合計額)	本年度目標値	272億円	現状値	269億円 (H27)
四半期	基本目標における当該期の実施内容・成果の総括		次期四半期以降への方針(第4四半期では、次年度の方針)		
第3	道の駅ましこが順調にオープンし、産業の各分野に少しずつ良い影響を与えている状況にある。 【政策1】については、KPIの担い手集積率、12月末推計で38.7%であり、27年度実績(36.7%)から2.0%の増である。これは、上山地区・山本地区の畑地集積増が要因である。また、道の駅来場者数は、12月末現在で19万9千人であり、本年度計画の15万人をすでに達成しており、今後大きく上まわる見込みである。 各施策の事業では、10月に道の駅オープン及び関連式典等を実施、12月末現在でレジ通過者11万4千人、販売額(税抜き)1億2千6百万円であり、順調に推移しているが課題も多く出ている。小泉・本沼地区畑地帯総合整備推進協議会及び営農部会・環境配慮部会を開催し事業計画説明を実施、農地バンク制度に関するアンケート調査の準備を進めている。 【政策2】については、KPIの有効求人倍率が11月現在0.67であり、今年目標値0.60を上まわり最高値となっている。また、年間月別平均値は0.50で推移しており、昨年の0.44に対し微増となっている。なお就業地別求人倍率は0.72である。 各施策の事業では、益子町雇用支援奨励金交付要綱の策定、求人情報誌を道の駅に設置、地域雇用創造協議会主催による各種スキルアップセミナー及び6次産業化と起業・創業にかかるノウハウ習得セミナーの開催、2月実施予定の益子町合同就職説明会参加企業の募集を実施した。その他新商品開発に向けデザイン事務所と益子焼関係者との意見交換会を開催し、試作品の作成を進めている。 【政策3】については、KPIの観光客入込数で秋の陶器市211,027人となり前年比較18,118人の増、道の駅ましこの観光客も順調であり、本年目標値の200万人を上まわる予想である。 各施策の事業では、平成館改修工事の発注、ラーニングバケーションの実施、川口、仁村氏に益子大使委嘱状を交付並びにマラソン大会にて大使活動を実施、体験型外国人メディアツアーとして台湾メディア10社13名によるツアー実施、留学生ツアー事業の内容検討及び参加者募集など進めている。		【政策1】については、道の駅ましこの新たな課題等に対処、特に来場者のニーズに対応した農産物の生産振興、加工所利用を含めた6次産業化取組への支援、集客に向けた年間イベント実施計画の策定支援、業績データの分析支援などを進めるとともに、道の駅ましこで発信すべき情報の整備とコンシェルジュの資質向上に努める。また、新たな農地バンク制度に向けたアンケート調査(2月)の実施、小泉・本沼地区畑地帯総合整備推進協議会では事業費や営農計画を提示するなど地権者の同意を得るべき会議を開催、里西地区の畑地帯総合整備事業と西谷地区土地改良事業を合わせた県営農地整備事業の検討を進める。 【政策2】については、益子町雇用支援奨励金制度の周知に努めるとともに、益子町合同就職説明会を2月に開催し、若年者雇用の拡充を進める。また、ハローワークの求人情報誌を町ホームページに掲載するなど就職情報を得やすいようにする。益子焼の新商品開発では、デザイン事務所と試作品作成の支援体制を整え数多くの作品が出来るよう努める。益子焼を使おう条例では、情報収集と素案作成を進める。ブランド商品認定制度では、制度が確立するまで道の駅にて支配人推奨品などの表示や特設コーナーを検討する。 【政策3】については、留学生ツアー事業(2月に20名を2回)の実施、新規益子大使の委嘱に向け予定者との交渉・調整及び大使の年間活動計画の内容検討、土祭検討委員会を引き続き開催し前土祭・本土祭について検討していく。平成館改修事業では、工事の進捗状況管理と最終事業内容の整理及び運営形態などの検討を進める。関東広域圏観光ルート形成事業及びかさましこマップ作成では引き続き内容検討、ラーニングバケーションでは宿泊を含めたメニューが実施できる団体の募集、デスティネーションキャンペーン実行委員会を立ち上げ参加協力の内容検討などを進める。		

基本目標	風土に根ざした産業をつくる			
成果指標	町内総生産	本年度目標値	540億円 (H26)	現状値 507.4億円 (H26)
成果指標	(当初町民税課税標準額の所得金額合計額)	本年度目標値	272億円	現状値 269億円 (H27)
四半期	基本目標における当該期の実施内容・成果の総括			
(第4四半期分含む)	次期四半期以降への方針(第4四半期では、次年度の方針)			
	【政策1 成長産業としての農業の確立】 については、3月末のKPIが新規就農者数12人(目標値9人)、担い手集積率36.9%(36.0%)で、道の駅来場者数は33万8千人(15万人)であり、それぞれ本年度の目標値を上回った。道の駅については、レジ通過者19万3千人、税抜き販売額が2億2千万円と順調に推移している。農地バンク制度に向けたアンケートを3月に実施した。畑地帯総合整備事業は、小泉・本沼地区において推進協議会を開催し事業説明を行い、里西・星の宮地区においては協議会立ち上げの打合せを行った。 【政策2 スモールビジネスの推進と起業支援による産業づくり】 については、KPIの起業支援補助金利用件数12件(8件)、空き店舗利用件数が5件(2件)で本年度の目標値を上回った。有効求人倍率が1月0.81、2月0.72と増加し、2月に開催した合同就職面接会による求人の掘り起こしが大きく影響しており、去年同期0.56、0.62よりも増加し、効果が表れている。益子焼後継者育成セミナー、イギリス販路拡大事業の実施、道の駅において益子焼に関する企画展を開催し、後継者育成、販路の開拓を実施した。 【政策3 観光の基幹産業化】 については、KPIの観光客入込数が213万人(200万人)、観光客宿泊数3万6千人(2万1千人)、外国人観光客宿泊数722人(400人)と目標値を大きく上回った。道の駅の来場者数、海外メディアや留学生のモニターツアー実施が増加要因。DC実行委員会の設立、土祭検討委員会の開催、益子大使委嘱、平成館改修支援プロジェクト会議の開催と当年度分平成館改修工事が完成した。			

新ましこ未来計画推進シート シート1【 計画・実施状況シート 】

		課局名	農政課		
基本目標	風土に根ざした産業をつくる	政策	成長産業としての農業の確立		
施策	農業生産体制の整備	進捗状況	100%		
KPI	新規就農者数（H26年度からの累計）	本年度目標値	9人	現状値	12人
KPI	担い手集積率	本年度目標値	36%	現状値	36.9%
KPI		本年度目標値		現状値	
		①年間計画（スケジュール・工程）		②実施内容・実績・成果	
主な取組内容	4月			平成27年度新規就農者：川崎尚（46歳）、萩原光（24歳）、勝田拓也（25歳）、仁平裕大（23歳）、宮代功（44歳）、菅山慶吾（30歳） 平成28年度新規就農者：高野康弘（39歳）	
	5月	④小泉・本沼地区畑地帯総合推進協議会の開催。里西地区、畑地帯総合推進協議会設立に向けた説明会の開催。		5/23営農検討部会の事前打合せの開催 5/26小泉・本沼地区環境部会、生き物調査（カエル）の開催 5/31小泉・本沼地区畑地帯総合推進協議会、営農部会の開催	
	6月			6/11小泉・本沼地区環境部会生き物調査（ホタル）の実施 6/28営農検討部会の事前打合せの開催	
	7月			7/5小泉・本沼地区畑地帯総合推進協議会の開催 7/6西谷地区（星の宮）土地改良事業説明会の開催	
	8月	①ましこ農地バンク（・アンケート調査準備 調査対象の把握、調査内容の検討） ④小泉・本沼地区畑地帯総合推進協議会の開催。里西地区、畑地帯総合推進協議会設立に向けた説明会の開催。		8/9小泉・本沼地区営農検討部会の事前打合せの開催 8/29西谷地区（塙）土地改良事業説明会の開催	
	9月			9/10新規就農相談会（池袋）の参加 9/25新規就農相談会（宇都宮）の参加 9/26アンケート調査内容の検討 9/27里西地区土地改良事業役員会の開催	
	10月			集落営農、法人化に向けた研修会	
	11月	①ましこ農地バンク（・アンケート調査の実施 調査票の回収、調査結果の整理） ②就職説明会への参加、PR。 ③集落営農組合、法人化に向けた説明会の開催。 ④小泉・本沼地区畑地帯総合推進協議会の開催。里西地区、畑地帯総合推進協議会設立に向けた説明会の開催。		小泉・本沼地区畑地帯総合推進協議会の開催	
	12月			小泉・本沼地区畑地帯総合推進協議会営農部会、環境配慮部会の開催	
	1月			小泉・本沼地区畑地帯総合推進協議会の開催	
	2月	①ましこ農地バンク（調査結果に基づく 意向状況の把握、台帳の作成、意向状況別地図の作成、今後の対応策の検討※調査結果の区分（人ごと、地域別、農地区分別）、認定農業者研修会の開催。 ④小泉・本沼地区畑地帯総合推進協議会の開催。里西地区、畑地帯総合推進協議会の設立。アスパラガス産地化に向け視察研修会の開催。		2/9里西・西谷地区農地整備事業打合せ 小泉・本沼地区畑地帯総合整備事業説明会の開催 視察研修会の開催（茨城県石岡市）	
	3月			小泉・本沼地区畑地帯総合推進協議会の開催	

	③担当課の点検・検証 ②を踏まえ、取組の必要性、効率性、有効性、改善点などを洗い出し、現時点の課題整理まで行う。	④次期四半期(第4四半期は、次年度) 以降の課題への方針・改善点
第1四半期	小泉・本沼地区の推進協議会及び営農部会を行い、今年度の事業計画等について説明を行った。まだ、地域の事業への理解度が低いとため事業推進員を始め事業取り組みへの意識を高めて行く。	反対者への説明、今後の営農計画について検討が必要。
第2四半期	①ましこ農地バンクのアンケートの設問内容等の情報収集を行った。 小泉・本沼地区の推進協議会及び営農部会を行い、今年度の事業計画等について説明を行った。まだ、地域の事業への理解度が低いとため事業推進員を始め事業取り組みへの意識を高めて行く。 西谷地区の水田は耕作放棄地が増えているため、今後の対策として農地集積等も含め土地改良事業の必要性について説明会を行った。また、農地所有者への畑総についてのアンケート結果の報告を行った。	①アンケートを実施するにあたり他市町の例など情報収集し、今後、設問内容や数について検討していく。 小泉・本沼地区は、反対者への説明、今後の営農計画について検討が必要。西谷、里西地区は今後の方針について検討が必要。新規就農者への支援が必要。
	池袋、宇都宮で行われた新規就農相談会に参加し益子町のPRを行った。	
第3四半期	①ましこ農地バンクアンケートの設問内容等や調査対象者範囲の検討、調査対象者数を把握した。 小泉・本沼地区の推進協議会及び営農部会、環境配慮部会を行い、今年度の事業計画等について説明を行った。まだ、地域の事業への理解度が低いとため事業推進員を始め事業取り組みへの意識を高めて行く。	①アンケートの設問内容等については、収集した情報を基に設問数や内容等について検討したが、回答を得られやすいよう設問数を少なくし、内容を簡易なものとした。又、調査対象者については、町内在住の10a以上の農地所有者とし、対象者数が1900人余となった。 反対者への説明、今後の営農計画について検討が必要。
第4四半期	①ましこ農地バンクのアンケートの実施、調査票の回収、調査結果の整理 小泉・本沼地区の推進協議会を行い、事業計画の打合せを行った。また、視察研修会を行い、今後の活動の参考にした。説明会では事業計画等について説明を行った。地域の事業への理解度が低いとため事業推進員を始め事業取り組みへの意識を高めて行く。 里西・星の宮地区の推進協議会立ち上げの打合せを行った。	①アンケート調査の回答数については1,909通の内1,074通(3/31現在)の回答があり回答率は56%超であった。今後は台帳を作成するにあたり、個々の状況を把握する必要がある。 なお、計画にあった調査結果に基づく意向状況の把握、台帳の作成、意向状況別地図の作成については、個々の状況把握の方法や予算等の関係で次年度以降に実施する。 小泉・本沼地区は、反対者への説明、今後の営農計画について検討が必要。里西・星の宮地区は今後の方針について検討が必要。新規就農者への支援が必要。

		⑤外部検証委員からの意見・提言	⑥議会からの意見・提言	⑦外部検証委員・議会からの意見・提言を受けての次期(次年度)以降の方針・改善点
上半期	第1四半期	委員の検証及び意見・提言 ①継続性について このまま継続・・・4委員 ②意見・提言 農地集積など、目標を超える実績はあるが、畑地帯総合整備事業をさらに推進されたい。		
	第2四半期			推進協議会、説明会を開催し事業を推進する
総括（下半期も含む）	第3四半期	委員の検証及び意見・提言 ①継続性について このまま継続・・・4委員 ②意見・提案 具体的行動4の見直しについて、アスパラガスの生産を始めた営農集団もあるということから、アスパラガスの文言を削除しなくてもよいのではないかな。		
	第4四半期も含む			②方針 一事業体のみの生産のため、アスパラガスは削除する。

新ましこ未来計画推進シート シート1【 計画・実施状況シート 】

		課局名	農政課		
基本目標	風土に根ざした産業をつくる	政策	成長産業としての農業の確立		
施策	地域農産物の販路開拓	進捗状況	100%		
KPI	道の駅来場者数	本年度目標値	15万人	現状値	33.8万人
KPI		本年度目標値		現状値	
KPI		本年度目標値		現状値	
		①年間計画（スケジュール・工程）		②実施内容・実績・成果	
主な 取組 内容	4月	①～⑥指定管理者と業務仕様書に基づき、管理運営協定を締結。 ①～⑥指定管理者と事業手段についての協議検討を行う。 ④地域農産物を活用した商品開発に向けた業務支援を行う。		①～⑥4/1指定管理者である株式会社ましこカンパニーと基本協定及び年度協定を締結。 ①～⑥指定管理者と事業手段についての協議検討を行った。（5回） ④4/1益子町地域農産物商品開発事業について事業要領を策定し、株式会社ましこカンパニーに対し交付決定。	
	5月			①～⑦ 5/6、5/16、5/31運営者との定例会議 5/12、5/16物販部門会議 5/13ましこのマルシェ生産者協議会役員会（新組織設立） 5/27経営会議 5/31小泉本沼地区畑地帯総合整備事業推進協議会営農部会	
	6月			①～⑦ 6/6、6/20、6/27運営者との定例会議 6/6販路ルート開拓（市場） 6/7第22回ましこのマルシェ生産者協議会役員会 6/13物販部門会議、6/16加工部門会議、加工品勉強会（14名） 6/21株主総会、経営会議（試食会） 生産者協議会登録者 133名	
	7月	①②③⑤指定管理者が行う取り組みに対する業務支援を行う。 ④指定管理者の商品開発に対する業務支援を行う。 ⑥⑦生産振興とブランド化について検討を開始。		①～⑦ 7/1ましこのマルシェ総会、道の駅生産者協議会の発足 7/2ましこのマルシェ旬夏祭を開催 7/12いちご生産者との意見交換 7/15栽培履歴講習及びマルシェ役員会を開催 7/29花卉生産者との意見交換 その他、7/4、7/11、7/20打合せ及び会議の開催	
	8月			①～⑦ 8/1都内販路開拓 8/4振興協議会、8/5道の駅生産者協議会 8/8畑地帯整備事業打合せ 8/23指定管理者との経営会議 8/25食品表示講習会及び生産者との意見交換会 道の駅事業進行管理 4回	
	9月			①～⑦ 9月ファーマーズ・フォレストによる農産物の買取開始 9/6生産者協議会役員会 9/7～11、9/15町外物販による町内農産物の販売 9/16指定管理者との経営会議 9月下旬いちご生産者との協議等	
	10月	①～⑤指定管理者が道の駅で開始する事業を支援する。 ④指定管理者が道の駅において商品の販売を開始。 ⑥⑦生産振興とブランド化について検討を継続するとともに、指定管理者は商品の提供販売を開始。		①～⑦10/12日より「道の駅ましこ」オープン販売施設「ましこのマルシェ」及び飲食施設「ましこのごはん」において地元野菜の販売や食の提供、情報発信を開始した。 プレオープン（12、13）及びグランドオープン（15、16）の4日間で11,400名のレジ通過（入込推計約18,000名）となった	
	11月			①～⑦11/9マルシェ役員会、11/12町民祭、11/17都内物販、経営会議、11/24振興協議会 道の駅の状況については営業日数29日、レジ通過者数40640名であり、当月来場数を70900人と見込む。 11/28いちご部会の開催	
	12月			①～⑦マルシェ役員会及び経営会議を実施。 12/16・17都内にて物販催事を行なう。 道の駅の状況については累計営業日数78日、当月までの来場数を20万人を見込む。	
	1月	①～⑤指定管理者が道の駅で行う事業を支援する。 ④指定管理者は商品開発を継続し、道の駅での販売を行う。 ⑥⑦生産振興とブランド化、新規販路のルート開拓に向けた検討を継続。		①～⑦道の駅の状況については累計営業日数107日、当月までの来場数は242,900人となった。 指定管理者と次年度に向けた事業計画について調整。 道の駅の運営状況について分析を行なった。	
	2月			①～⑦道の駅の状況については累計営業日数133日、当月までの来場数は28万人（レジ数16万人）を超える実績となった。 指定管理者と次年度の事業計画について調整・検討を行なった。 道の駅の運営状況について実地調査を実施した。	
	3月	行動①～⑦ ①販売体制の支援、②都市住民との交流拡大 ③顔が見えるつながりを推進、④商品開発の支援 ⑤地元農産物の利用推進、⑥農産物のブランド化 ⑦販路開拓		①～⑦道の駅の状況については累計営業日数164日、当月までの来場数は30万人（レジ数18万人）を超える実績となった。 指定管理者と次年度の事業方針について協議し、事業費（指定管理料）を決定。年度協定を締結した。 3/23生産者協議会総会、3/28種苗講習会を開催	

	③担当課の点検・検証 ②を踏まえ、取組の必要性、効率性、有効性、改善点などを洗い出し、現時点の課題整理まで行う。	④次期四半期(第4四半期は、次年度) 以降の課題への方針・改善点
第1四半期	業務仕様に基づき、道の駅を拠点とした地域農産物の販路開拓に向けた施設整備及び運営検討を行った。 本施策は長スパンで取り組みべきものである。現時点の課題については、農産物及び加工品、一般商品の品揃えや品質、商品の発掘など道の駅のオープンに向けた準備が求められる。	10月のオープンをひかえ、商品確保に向けたルート開拓と共に、継続した町内農産物（者）の確保と育成が必要であることから、指定管理者とともに課題解消に向けた準備を進めていく。
第2四半期	業務仕様に基づき、道の駅を拠点とした地域農産物の販路開拓に向けた運営検討を行った。 道の駅での品揃え（商品群）については概ね出揃い、ラインナップも見えてきたところであるが、顧客ニーズを踏まえつつ、随時対応することが必要である。	10月15日の道の駅オープン以降は、生産ニーズと顧客の購買ニーズの調整が必要となる。今後、農業を成長産業として位置付けていくためには、生産拡大や就農者の確保といった農業振興施策が求められる。また、売場に留まらず、積極的な外販も必要であることから町外販売に向けた売場の確保に努める。
第3四半期	施設オープン間際であることもあり、まだ管理者側で十分な販路開拓が行なわれていない。また、商品のラインナップに関しても十分とはいえない状況にある。	これから閑散期を向かえること、また生産状況も冬季に入ったことで品薄状態が懸念される。今後、冬季期間は品揃えが重要になることから、管理者と十分に協議調整を行い、商品の確保に努める。また、町内消費の拡大と集客効果の高い販売戦略を立てる必要がある。
第4四半期	施設がオープンして5ヶ月半が経過するも、施設の運営管理者（会社）の経営基盤が安定するにはまだ時間を要する。 そのため、施設の運営体制も十分とはいえる状態ではなく、地域農産物の販路開拓はもちろんであるが、生産振興においても課題を残したところである。	地域振興拠点施設（道の駅）の運営（経営）安定にはあと数ヶ月を要するものの、施設の利用客数・売上げ共に当初見込んだ数値を達成している。 より顧客ニーズに即した売場づくり、商品確保に努めるため、施設管理者と十分に協議調整を行い、課題の解決に向けて事業を展開していくものとする。

		⑤外部検証委員からの意見・提言	⑥議会からの意見・提言	⑦外部検証委員・議会からの意見・提言を受けての次期(次年度)以降への方針・改善点
上半期	第1四半期	委員の検証及び意見・提言 ①継続性について このまま継続・・・4委員		②方針 道の駅来場者のニーズに対応した農産物の提供に努めるとともに、顧客確保のための対応を進めて行く。
	第2四半期	②意見・提言 来場者のニーズに対応した農産物を生産者と協議し提供できるようにされたい。 道の駅の今後の安定した顧客確保のため、飽きさせないための商品提供等アドバイスを継続されたい。		
総括(下半期も含む)	第3四半期	委員の検証及び意見・提言 ①継続性について このまま継続・・・4委員		②方針 運営体に対し、指導助言を行なう。
	第4四半期	②意見・提言 具体的行動2に関連し、ましこカンパニーにて旅行業の登録を行うと、活動が行いやすいことから、町からも助言を行うべきである。		

新ましこ未来計画推進シート シート1【 計画・実施状況シート 】

		課局名	観光商工課			
基本目標		風土に根ざした産業をつくる	政策	成長産業としての農業の確立		
施策		地域農産物の販路開拓	進捗状況	100%		
KPI		道の駅来場者数	本年度目標値	15万人	現状値	33.8万人
KPI			本年度目標値		現状値	
KPI			本年度目標値		現状値	
		①年間計画（スケジュール・工程）		②実施内容・実績・成果		
主な 取 組 内 容	4月	②農業体験と連携したプログラムづくりの検討・情報発信。		②「益子木綿の工房」募集開始（メディアへ情報提供）。		
	5月			②「益子木綿の工房」開催（第1回）5/22。参加者18名。		
	6月			②「益子木綿の工房」開催（第2回）6/19。参加者14名。 ②益子「西明寺風土（foods）千年物語」の開催内容について打合せ。		
	7月	②農業体験と連携したプログラムづくりの実施・情報発信。		②「益子木綿の工房」開催（第3回）7/17。参加者14名。 ②益子「西明寺風土（foods）千年物語」の開催内容決定。		
	8月			②「益子木綿の工房」開催（第4回）8/21。参加者16名。 ②益子「西明寺風土（foods）千年物語」の参加者募集開始。 ②ラーニングパッケージ実施団体募集		
	9月			②「益子木綿の工房」開催（第5回）9/18。参加者11名。 ②益子「西明寺風土（foods）千年物語」（第1回）9/25。参加者21名		
	10月	②農業体験と連携したプログラムづくりの実施・情報発信。		②「益子木綿の工房」開催（第6回）10/23。参加者10名。		
	11月			②「益子木綿の工房」開催（第7回）11/20。参加者11名。 ②益子「西明寺風土（foods）千年物語」（第2回）11/13。参加者12名		
12月	②「益子木綿の工房」開催（第8回）12/18。参加者12名。					
1月	②益子「西明寺風土（foods）千年物語」（研修会）1/29。参加者9名。					
2月	②農業体験と連携したプログラムづくりの実施・情報発信。					
3月			②益子「西明寺風土（foods）千年物語」（第3回）3/5。参加者13名 ②ラーニングパッケージ事業報告会3/23。2団体			

	③担当課の点検・検証 ②を踏まえ、取組の必要性、効率性、有効性、改善点などを洗い出し、現時点の課題整理まで行う。	④次期四半期(第4四半期は、次年度) 以降の課題への方針・改善点
第1 四半期	②体験型ツーリズムで木綿の工房は第2回まで予定通り開催終了。西明寺もラーバケ開催に向け企画中。	②西明寺の開催内容が確定し次第、速やかに情報発信ができるよう検討。
第2 四半期	②木綿の工房及び西明寺風土千年物語、2つの体験型ツーリズムの事業は9月まで計画通り実施された。「お知らせ版」でラーニングパッケージ実施団体を募集したが9/26現在で応募なし。	②開催通知等の適切な時期での情報発信が出来るよう準備を進める。 ラーニングパッケージについては、募集、PRを続ける。
第3 四半期	②木綿の工房及び西明寺風土千年物語、2つの体験型ツーリズムの事業は12月まで計画通り実施された。	②木綿の工房は開催終了。 西明寺風土千年第3回の開催通知等の適切な時期での情報発信が出来るよう準備を進める。 ラーニングパッケージについては、新規開催予定団体向けの募集及び説明会を検討。
第4 四半期	②木綿の工房及び西明寺風土千年物語、2つの体験型ツーリズムの本年度事業分については計画通り実施され、事業報告会を開催した。 アンケートの結果より、7割を超える方が満足と回答。学習意欲も高い。	②西明寺風土千年物語は交付金事業3年間終了。 木綿の工房は継続事業で次年度3年目 ラーニングパッケージ事業について、新規開催予定団体向けの募集及び説明会を検討。

		⑤外部検証委員からの意見・提言	⑥議会からの意見・提言	⑦外部検証委員・議会からの意見・提言を受けての次期(次年度)以降への方針・改善点
上半期	第1四半期	委員の検証及び意見・提言 ①継続性について このまま継続・・・4委員 改善・見直し、廃止・終了・・・なし		JAとの連携については、実施団体と協議・検討。
	第2四半期	②意見・提言 イチゴ狩りなどのフルーツ狩りができるようJAと連携した対応を図りたい。		
総括（下半期も含む）	第3四半期	委員の検証及び意見・提言 ①継続性について このまま継続・・・4委員 改善・見直し、廃止・終了・・・なし		②関係各課及び実施団体と連携し、事業の推進を図っていく。
	総括（第4四半期も含む）	②意見・提言 実施計画に沿い各課連携を図られ実行されたい。		

新ましこ未来計画推進シート シート1【 計画・実施状況シート 】

		課局名	農政課		
基本目標	風土に根ざした産業をつくる	政策	スモールビジネスの推進と起業支援による産業づくり		
施策	商店の活性化と起業支援の充実	進捗状況	100%		
KPI	起業支援補助金利用件数（H26からの累計）	本年度目標値	8件	現状値	12件
KPI	空き店舗利用件数（H26からの累計）	本年度目標値	2件	現状値	5件
KPI		本年度目標値		現状値	
		①年間計画（スケジュール・工程）		②実施内容・実績・成果	
主な 取組 内容	4月	④指定管理者と業務仕様書に基づき、管理運営協定を締結。		④4/1指定管理者である株式会社ましこカンパニーと基本協定及び年度協定を締結。 ④指定管理者と事業手段についての協議検討を行う。	
	5月			④5/13交流部門会議において担当課と意見及び業務調整 ④5/27経営会議	
	6月			④6/17部門別会議において担当課及び運営会社との役割整理 ④6/21株主総会・経営会議 ④6/22パンフレット（情報発信）打合せ他2回 ④6/30パンフレット打合せ	
	7月			④7/13Web・パンフレット打合せ ④7/15交流部門会議において情報発信内容等の検討 ④7/4定例会議、7/20経営会議	
	8月			④道の駅におけるウェブ及びパンフレットの作成に着手 ④道の駅事業進行管理等5回	
	9月			④企画課による都内PR ④指定管理者との経営会議他	
	10月	④町が集約した情報を指定管理者が道の駅で提供を開始。		④10/12日より「道の駅ましこ」オープン 情報案内施設「ましこのコンシェルジュ」において、観光情報や道路情報のほか、益子の暮らしに関する情報案内・発信を行なった。 *視察状況10/26日6名、10/31日24名	
	11月			④情報案内施設「ましこのコンシェルジュ」において、観光情報や道路情報のほか、益子の暮らしに関する情報案内・発信を行なった。 *視察状況11/7日16名、11/11日33名、11/28日20名、11/30日55名	
	12月			④情報案内施設「ましこのコンシェルジュ」において、観光情報や道路情報のほか、益子の暮らしに関する情報案内・発信を行なった。 *視察状況12/12日5名、12/20日3名	
	1月	④町が集約した情報を指定管理者が道の駅で提供。		④情報案内施設「ましこのコンシェルジュ」において、観光情報や道路情報のほか、益子の暮らしに関する情報案内・発信を行なった。 移住定住の促進に向けた取り組みを担当課が実施、道の駅では案内及び情報提供を行った。	
	2月			④情報案内施設「ましこのコンシェルジュ」において、観光情報や道路情報のほか、移住定住の促進に向けた案内・発信を行なった。 *視察状況3件58人	
	3月			④情報案内施設「ましこのコンシェルジュ」において、観光情報や道路情報のほか、移住定住の促進に向けた案内・発信を行なった。 情報収集が不十分であったため、踏み込んだ紹介ができなかった。	

	③担当課の点検・検証 ②を踏まえ、取組の必要性、効率性、有効性、改善点などを洗い出し、現時点の課題整理まで行う。	④次期四半期(第4四半期は、次年度)以降の課題への方針・改善点
第1四半期	業務仕様に基づき、指定管理者が行なう各種情報の発信手段について検討を行なった。 施設では、情報の発信や紹介を主たる業務として想定しているが、窓口における対応や役割について検討を要する。	情報集約の進度が遅く、施設オープン時までにはシステム構築が完了するのか未定。 よって、移住定住施策の制度づくりを早急に進めてもらいたい。
第2四半期	業務仕様に基づき、指定管理者が行なう情報発信や紹介を主たる業務の整理を行った。今後、より具体的な作業として窓口における対応や役割について整理を行う必要がある。	施設のオープンをはかえ、窓口による対応については選任職員によって対応するが、これら情報の収集手段については現状の体制では困難である。関係各課による情報収集・提供をお願いしたい。
第3四半期	業務仕様に基づく業務内容とその役割について、管理者又は町が行うものを明確化かつ透明化する必要がある。	業務役割分担に関しては、次期指定管理の業務協議において整理し、改善するものとする。 また、道の駅はあくまでアウトプットの場所であることから、必要な情報収集に関しては担当部局において行なわれない。
第4四半期	前期と同様であるが、業務仕様に基づく業務内容とその役割について、管理者又は町が行うものを明確化かつ透明化するとともに、情報の収集・集約に努める必要がある。	業務役割分担に関しては、指定管理の業務協議（年度協定時）において整理し、改善するものとする。 必要な情報の収集・集約に関しては担当部局において行い、効果的かつ効率的な情報の発信に努める。

		⑤外部検証委員からの意見・提言	⑥議会からの意見・提言	⑦外部検証委員・議会からの 意見・提言を受けての 次期(次年度)以降への方針・改善点
上 半 期	第1 四 半 期	委員の検証及び意見・提言 ①継続性について このまま継続・・・4委員 ②意見・提言 実施計画に沿い各課連携を図られ実行されたい。		
	第2 四 半 期			②方針 各課連携を図り実行する。
総 括 (下 半 期 も 含 む)	第3 四 半 期	委員の検証及び意見・提言 ①継続性について このまま継続・・・4委員 ②意見・提言 実施計画に沿い各課連携を図られ実行されたい。		
	総 括 (第4 四 半 期 も 含 む)			②方針 実施主体課において担当窓口を設置し、業務を実施している。

新ましこ未来計画推進シート シート1【 計画・実施状況シート 】

		課局名	観光商工課		
基本目標	風土に根ざした産業をつくる	政策	スモールビジネスの推進と起業支援による産業づくり		
施策	商店の活性化と起業支援の充実	進捗状況	80%		
KPI	起業支援補助金利用件数（H26からの累計）	本年度目標値	8件	現状値	12件
KPI	空き店舗利用件数（H26からの累計）	本年度目標値	2件	現状値	5件
KPI		本年度目標値		現状値	
		①年間計画（スケジュール・工程）		②実施内容・実績・成果	
主な取組内容	4月	①起業支援補助金制度の周知。 ②「創業支援事業計画」が平成28年1月13日認定→商工会や栃木県産業振興センターと連携し創業者相談受付を開始。		①起業支援補助金申請についてHP掲載及び4月下旬「おしらせ版」掲載：問合せ4件。 ②鹿沼市商工会議所に創業支援セミナー内容問合せ及び益子町商工会と創業支援セミナーについて打合せ。 創業相談2件。 ③融資申し込み6件。 ④「やまゆりカードの会」、道の駅担当者との打ち合わせ。 ⑤求人情報紙（ハローワーク作成）を庁舎ホールに設置。	
	5月	②融資制度による支援 ②「中小企業振興資金」（3,000万円）実施。 ②後継者支援育成のためのセミナー開催支援（益子焼関係団体振興協議会）。		①起業支援補助金申請：問合せ2件うち1件申請予定。 ②融資申し込み1件。 ③求人情報紙（ハローワーク作成）を庁舎ホールに設置。	
	6月	③ポイントカード実施に関する検討。 ④空き店舗・求人情報・起業支援情報の収集。		①起業支援補助金審査委員会6/15開催（1件）。 ①起業支援補助金申請：問合せ3件うち1件申請予定。 ②融資申し込み10件。 ②6/28創業・事業継承支援PT（第1回）会議出席。 ④求人情報紙（ハローワーク作成）を庁舎ホールに設置。	
	7月			①起業支援補助金審査委員会7/28開催（2件） ②益子焼後継者育成のためのセミナー開催のために補助金を7/28交付済み。 ②融資申し込み6件 ②市町村特別保障制度連絡会議 7/15 ④求人情報紙（ハローワーク作成）を庁舎ホールに設置。	
	8月	①起業支援補助金制度の周知。 ②融資制度による支援 ②後継者支援育成のためのセミナー開催支援（益子焼関係団体振興協議会）。 ③ポイントカード実施に関する検討。 ④空き店舗・求人情報・起業支援情報の収集。		①起業支援補助金申請問合せ1件 ②融資申し込み4件 ②益子焼人材確保・後継者育成セミナー（参加者：スキルアップ：1回5名・ステップアップ：1回18名）の開催 県産業技術支援センター ④求人情報紙（ハローワーク作成）を庁舎ホールに設置。	
	9月			①起業支援補助金申請問合せ1件 ②融資申し込み4件 ②益子焼人材確保・後継者育成セミナー（参加者：スキルアップ：3回15名・ステップアップ：2回22名）の開催 県産業技術支援センター ④求人情報紙（ハローワーク作成）を庁舎ホールに設置及び町ホームページからハローワーク情報がリンクできるようにした。	
	10月			①起業支援補助金申請問合せ1件 ②融資申し込み5件 ②益子焼人材確保・後継者育成セミナー（参加者：スキルアップ：3回15名・ステップアップ：2回38名）の開催 県産業技術支援センター ④求人情報紙（ハローワーク作成）を庁舎ホール及び、10月オープンの道の駅に設置。	
	11月	①起業支援補助金制度の周知。 ②融資制度による支援 ②後継者支援育成のためのセミナー開催支援（益子焼関係団体振興協議会）。 ④空き店舗・求人情報・起業支援情報の収集及び周知。		①起業支援補助金申請問合せ2件 ②融資申し込み5件 ②益子焼人材確保・後継者育成セミナー（参加者：スキルアップ：1回5名・ステップアップ：1回5名）の開催 県産業技術支援センター ④求人情報紙（ハローワーク作成）を庁舎ホール及び、道の駅に設置。	
	12月			①起業支援補助金申請問合せ1件 ②融資申し込み9件 ②益子焼人材確保・後継者育成セミナー（参加者：スキルアップ：3回12名・ステップアップ：1回17名）の開催 県産業技術支援センター ②後継者育成セミナーについて課内検討④求人情報紙（ハローワーク作成）を庁舎ホール及び、道の駅に設置。	
	1月			①起業支援補助金申請問合せ2件 ②融資申し込み2件 ②益子焼人材確保・後継者育成セミナー（参加者：スキルアップ：2回7名）の開催 県産業技術支援センター	
	2月	①起業支援補助金制度の周知。 ②融資制度による支援 ②後継者支援育成のためのセミナー開催支援（益子焼関係団体振興協議会）。 ④空き店舗・求人情報・起業支援情報の収集及び周知。		①起業支援補助金申請問合せ3件 ②融資申し込み2件 ②益子焼人材確保・後継者育成セミナー（参加者：スキルアップ：3回12名・ステップアップ：1回12名）の開催 県産業技術支援センター	
	3月			①起業支援補助金申請問合せ2件 ②融資申し込み5件	

	③担当課の点検・検証 ②を踏まえ、取組の必要性、効率性、有効性、改善点などを洗い出し、現時点の課題整理まで行う。	④次期四半期(第4四半期は、次年度)以降の課題への方針・改善点
第1四半期	①起業支援補助金の問合せもあるが、支給要件該当外の問合せもあるため、広報の工夫が必要。 ②益子統後継者育成のセミナー開催のために補助金を交付する予定であったが、申請が遅れたため7月以降の交付。 ②県や市町、商工団体や金融機関等の支援機関が連携しながら効果的に企業を支援していくため、栃木県内で「とちぎ地域応援ネットワーク」が設置された。 ③道の駅で使用するポイントカードとやまゆりカードとの統一が難しいため、ポイントカードの再検討が必要となった。 ④ハローワークからの求人情報を月3回紙ベースで配布しているが、情報発信の観点からは弱い状況。	①見やすい、わかりやすい広報リーフレット等の作成を検討する。 ②申請団体へ交付申請を促す。 ②今後、ネットワーク会議に参加しながら、創業、事業継承等切れ目のない支援をしていくための方策を検討していく。 ③新たな町内全域で利用可能なポイントカードについて検討が必要 ④ハローワーク求人情報と町HPとのリンク等を検討。
第2四半期	①起業支援補助金2件支給済み。申請について問合せはあるものの、交付要件に合致しないものがある。 ②県や市町、商工団体や金融機関等の支援機関が連携しながら効果的に企業を支援していくため、栃木県内で「とちぎ地域応援ネットワーク」が設置された。 ③道の駅で使用するポイントカードとやまゆりカードとの統一が難しいため、ポイントカードの再検討が必要となった。 ④ハローワークからの求人情報を月3回紙ベースで配布している。ハローワーク情報がリンクできるようにしたが、その他の情報発信方法の検討。	①見やすい、わかりやすい広報リーフレット等の作成検討及び交付要綱の内容検討をする。 ②今後、ネットワーク会議に参加しながら、創業、事業継承等切れ目のない支援をしていくための方策を検討していく。 ③新たな町内全域で利用可能なポイントカードについて検討が必要 ④ハローワーク求人情報の発信方法を検討。
第3四半期	①起業支援補助金について問合せが4件あったが、交付要件に合致せず申請に至らない。 ②昨年度と比べて、融資申し込み件数が少ないため、金融機関を通して広報に努める。 ③道の駅で使用するポイントカードとやまゆりカードとの統一が難しいため、ポイントカードの再検討が必要となった。 ④道の駅にも求人情報紙を置くようにしたが、その他の情報発信方法の検討。	①見やすい、わかりやすい広報リーフレット等の作成検討及び交付要綱の内容検討をする。 ②今後、県内のネットワーク会議に参加しながら、創業、事業継承等切れ目のない支援をしていくための方策を検討していく。 ③新たな町内全域で利用可能なポイントカードについて検討が必要 ④ハローワークの求人情報紙をPDFにして、求職者がより町ホームページから情報を得やすいようにする。
第4四半期	①起業支援補助金について問合せが7件あり、次年度以降に交付対象となる案件であった。 ②昨年度と比べて、融資申し込み件数が少ない。 ③道の駅で使用するポイントカードとやまゆりカードとの統一が難しいため、ポイントカードの再検討が必要となった。 ④求人情報等の発信方法の検討。空き店舗情報の周知については、バンク登録者がまだいない状況。	①交付要綱の検討。 ②今後、県内のネットワーク会議に参加しながら、創業、事業継承等切れ目のない支援をしていくための方策を検討していく。 ③新たな町内全域で利用可能なポイントカードについて検討が必要。 ④空き店舗や求人情報等・起業支援情報の収集については、関係機関と連携をとり、すすめていく。求職者や、創業希望者がより情報を得やすいようにするための検討。

		⑤外部検証委員からの意見・提言	⑥議会からの意見・提言	⑦外部検証委員・議会からの意見・提言を受けての次期(次年度)以降への方針・改善点
上半期	第1四半期	委員の検証及び意見・提言 ①継続性について このまま継続・・・4委員 改善・見直し、廃止・終了・・・なし ②意見・提言 実施計画に沿い各課連携を図られ実行されたい。		①～④関係各課及び団体と連携し、事業の推進を図っていく。
	第2四半期			
総括（下半期も含む）	第3四半期	委員の検証及び意見・提言 ①継続性について このまま継続・・・4委員 改善・見直し、廃止・終了・・・なし ②意見・提言 実施計画に沿い各課連携を図られ実行されたい。		①～④関係各課及び団体と連携し、事業の推進を図っていく。
	第4四半期も含む			

新ましこ未来計画推進シート シート1【 計画・実施状況シート 】

		課局名	農政課		
基本目標	風土に根ざした産業をつくる	政策	スモールビジネスの推進と起業支援による産業づくり		
施策	ものづくりの育成・支援	進捗状況	100%		
KPI	ブランド商品認定数（累計）	本年度目標値	10件	現状値	未実施
KPI		本年度目標値		現状値	
KPI		本年度目標値		現状値	
		①年間計画（スケジュール・工程）		②実施内容・実績・成果	
主 な 取 組 内 容	4月	①地域農産物を活用した商品開発に向けた支援を行う。 ①農産品の認証制度について検討開始。		①4/1地域振興拠点（加工施設）の稼働を開始 ①4/1益子町地域農産物商品開発事業について事業要領を策定し、株式会社ましこカンパニーに對し交付決定。	
	5月			①ましこ農産加工品ブランド認証制度について検討開始。 6月に実施要綱を制定予定。 ①5/27経営会議 ①5/31指定管理（加工施設）実地調査を行なう	
	6月			①制度に関する要綱策定 ①関係協議及び検討（3回）を行なう。 ①6/13任意団体「ブルーベリー協議会」発足 ①加工品を対象とした食品衛生の勉強会を実施（14名） ①6/20小麦プロジェクトについてのヒヤリング ①6/21株主総会・経営会議	
	7月	①商品の選考・認定を行う。 ①商品の安定供給に向けた支援を行う。		①7/2、7/4、7/20定例会議等の開催 ①受託者が加工所に常駐し、商品づくりに着手するとともに、町民利用について検討を行なう。	
	8月			①8/25加工者を対象とした食品表示に関する講習会を開催 ①その他道の駅事業に関する進行管理5回	
	9月			④9/15加工施設見学会（午前・午後）の実施26名 ④9/13いちご箱打合せ ④9/16指定管理者との経営会議	
	10月	①指定管理者が道の駅において認定商品の取扱いを開始。		④10/12日より「道の駅ましこ」オープン 販売施設「ましこのマルシェ」及び飲食施設「ましこのごはん」においてましこのピクルス、ドレッシング、プリンの提供・販売を開始した。 また、オリジナルパッケージングや袋等による商品販売を開始した。	
	11月			④販売施設「ましこのマルシェ」及び飲食施設「ましこのごはん」においてましこのピクルスやプリンの提供・販売を開始した。 *10月の実績・・・ピクルス58、プリン769、その他33 ④11/28いちご部会の開催 また、試験運用により加工施設を利用した商品提供（カット野菜・キャベツ）の実証実験を行なった。	
	12月			④販売施設「ましこのマルシェ」及び飲食施設「ましこのごはん」において道の駅PB商品である「ましこのピクルス」や「とろたまプリン」の提供・販売を開始した。 *11月の実績・・・ピクルス192、プリン961	
	1月	①道の駅での販売とともに、町外販路の拡大に向けた取り組みに着手。		④販売施設「ましこのマルシェ」及び飲食施設「ましこのごはん」において道の駅PB商品である「ましこのピクルス」や「とろたまプリン」の提供・販売を開始した。 1/21・22店頭企画「菓子フェア」を開催 *12月の実績・・・ピクルス（6種）216、プリン1167他	
	2月			④販売施設「ましこのマルシェ」及び飲食施設「ましこのごはん」において道の駅PB商品である「ましこのピクルス」や「とろたまプリン」を提供・販売。 併せて「とちひめ」の販売を本格的に開始。 2/11・12店頭企画「いちごフェア」を開催 *1月の実績・・・ピクルス59個、プリン1,038個、いちご416個	
	3月	行動① ブランド商品認定制度を確立し、商品の価値を高め、販路拡大を図ります。		④販売施設「ましこのマルシェ」及び飲食施設「ましこのごはん」において道の駅PB商品である「ましこのピクルス」や「とろたまプリン」、「とちひめ」を提供・販売。 3/13加工技術講習会を開催。 3/18-20旬春祭を開催。 *2月の実績・・・ピクルス139個、プリン1,053個、いちご1,715パック	

	③担当課の点検・検証 ②を踏まえ、取組の必要性、効率性、有効性、改善点などを洗い出し、現時点の課題整理まで行う。	④次期四半期(第4四半期は、次年度) 以降の課題への方針・改善点
第1四半期	業務仕様に基づき、指定管理者が商品開発等を行なった。 また、町内素材を活用するプロジェクト（ブルーベリー・小麦）が始動。 認証制度については、より具体性・現実性を持った仕組みづくりを図る必要がある。	ブランド認証制度の確立に向けた取り組みを進めるとともに、出口となる販売チャンネルを確保するための準備を行なう。
第2四半期	これまでに各プロジェクトのほか、加工所の説明会を行なうことにより、商品開発に興味をもつ方も増え、進展が見えてきた。 一方、現状では町内産品と呼べる商品は乏しく、生産の拡大が求められるところである。	農業を核とした商品の開発については、生産から加工、商品づくりと多岐に渡る。第3四半期以降については、加工施設を活用し積極的な商品開発を行なっていく。そのためには選任スタッフの配置・指導・助言といったものが不可欠であるが、道の駅オープン直前であることから受託者が行なうことは困難であり、これらを解決する手段を講じる必要がある。
第3四半期	業務仕様に基づき、指定管理者が商品開発等を行なった。 商品については主力販売品2種類がラインナップされ、人気・売上共に好評であった。 一方で、また商品群が僅少であることから、ものづくりの仕組みの確立が求められる。	販売する場所が確保されたことから、今後は生産ラインの確保と商品群の充実を図る。さらには商品個々の付加価値を高めるための商品戦略が不可欠であり、その専任・専属化が必要である。 また、ブランド認証制度についてはその確立に向けた準備を進めるとともに、より具体的な農業振興に着手する必要がある。
第4四半期	当期においては概ね目標が達成できた。 主力販売品を安定的に供給するための体制づくりが求められる。	生産ラインの確保と商品群を充実させるため、新たに加工部門を設置し、これら課題の解決を図る。 ブランド認証制度については時期尚早ではあるが、その準備を進める。 併せて、近々の課題である農業振興に着手するものとする。

		⑤外部検証委員からの意見・提言	⑥議会からの意見・提言	⑦外部検証委員・議会からの意見・提言を受けての次期(次年度)以降の方針・改善点
上半期	第1四半期	委員の検証及び意見・提言 ①継続性について このまま継続・・・4委員		②方針 ブランド認証制度が確立するまで、ものづくりの育成・支援に努める。
	第2四半期	②意見・提言 ブランド認証制度が確立するまで、道の駅での販売品（つる付きイチゴなど）に「支配人推奨商品」などの表示、特設コーナーの設置などを検討してはどうか。		
総括（下半期も含む）	第3四半期	委員の検証及び意見・提言 ①継続性について このまま継続・・・4委員		②方針 ブランド認証制度の確立に向けた準備を進めている。
	総括（第4四半期も含む）	②意見・提言 ブランド認証制度について、できるだけ早い時期に制度が構築できるよう方向性、委員会等の設置等を検討されたい。		

新ましこ未来計画推進シート シート1【 計画・実施状況シート 】

		課局名	観光商工課		
基本目標	風土に根ざした産業をつくる	政策	スモールビジネスの推進と起業支援による産業づくり		
施策	ものづくりの育成・支援	進捗状況	75%		
KPI	ブランド商品認定数（累計）	本年度目標値	10件	現状値	未実施
KPI		本年度目標値		現状値	
KPI		本年度目標値		現状値	
		①年間計画（スケジュール・工程）		②実施内容・実績・成果	
主な取組内容	4月			①4/19県工業振興課担当者と地方創生事業によるイギリスでの販路拡大事業打合せ。 ④かさましこ観光協議会でPR用711ペーパーの作成済及び陶器市での配布。	
	5月	①益子焼新商品開発業務契約。台湾、イギリスでの販路拡大について検討。 ②商工会・マルシェ・シルバー人材センター等から情報収集。 ③インキュベーションセンターの検討。 ④藍染、竹細工、木工産地との協力について検討。かさましこ観光協議会での焼き物つながりPR。		①地方創生事業 5/10「第1回栃木県陶磁器産地振興協議会」出席。	
	6月			①6/1深澤デザインと契約。 ③6/23真岡商工会議所を訪問し、インキュベーションセンター視察についての事前相談。	
	7月			①地方創生事業 7/1NY販路開拓事業出品者事業説明会。 深澤デザイン新商品打合せ ③真岡商工会議所インキュベーションセンター視察 7/12	
	8月	①益子焼新商品開発業務契約。台湾での販路拡大事業展開（8月）。イギリスでの販路拡大について検討。 ②商工会・マルシェ・シルバー人材センター等から情報収集。 ③インキュベーションセンター先進地の視察。 ④藍染、竹細工、木工産地との協力について検討。かさましこ観光協議会での焼き物つながりPR。		①地方創生事業 8/1NY販路開拓事業出品者事業市場環境説明会。 台湾ツアー 8/2～8/5 深澤デザインと新商品開発スケジュールについて打合せ 8/10、8/31英国販路拡大事業打合せ 8/30NY販路開拓事業マーケットトレンドセミナー ④かさましこフリーペーパー多言語版制作業務契約 8/1	
	9月			①地方創生事業 9/2「第2回栃木県陶磁器産地振興協議会」。 台湾ツアー報告会 9/26 NY販路開拓アドバイザーセミナー 9/29、9/30 深澤デザインと新商品開発に向け随時打合せ ④かさましこ観光協議会において、第2号の711ペーパー作成内容打合せ	
	10月			①NY流通・商慣習説明会 10/21 深澤デザインと新商品開発に向け現地視察 10/17 ④かさましこ観光協議会連携事業笠間浪漫参加 10/8 かさましこ観光協議会において、第2号の711ペーパー作成内容打合せ 10/20	
	11月	①益子焼新商品開発業務契約。台湾での販路拡大事業展開。イギリスでの販路拡大について検討。 ②商工会・道の駅・シルバー人材センター等から情報収集。 ③大学などと連携し、インキュベーションセンター設立についての検討。 ④藍染、竹細工、木工産地との協力について検討。かさましこ観光協議会での焼き物つながりPR。		①深澤デザインと新商品開発に向け現地視察 11/24 ③インキュベーションセンター設置状況について、足利市、小山市、那須烏山市へ照会 ④かさましこ観光協議会 観光PRin益子 11/4 かさましこメディアツアー 11/9 かさましこMAP打合せ 11/24	
	12月			①深澤デザインと新商品開発に向け意見交換会 12/8 ④かさましこプロモーションビデオ制作打合せ 12/16	
	1月			①イギリス販路拡大事業 1/13～1/19 当事業報告会 1/20 深澤デザインと新商品開発に向け意見交換会 1/19 ④かさましこプロモーションビデオ制作打合せ 1/27	
	2月	①益子焼新商品開発業務契約。台湾での販路拡大事業展開（8月）。イギリスでの販路拡大事業展開（1月）。 ②手仕事人材バンクを設置し、作家や工芸品の情報を一元化し町内外へ情報提供を行います。 ③大学などと連携し、インキュベーションセンターを設立検討。 ④藍染、竹細工、木工産地との協力について検討。かさましこ観光協議会での焼き物つながりPR。		④かさましこ留学生モニターツアー2/16～2/18 2/21～2/23 かさましこ渋谷ヒカリエキャンペーン 2/18～2/19 かさましこ事業報告会 2/24	
	3月			①深澤デザインと新商品開発に向け試作品の意見交換会 3/16	

	③担当課の点検・検証 ②を踏まえ、取組の必要性、効率性、有効性、改善点などを洗い出し、現時点の課題整理まで行う。	④次期四半期(第4四半期は、次年度) 以降の課題への方針・改善点
第1 四 半 期	①深澤デザイン事務所と契約済。新商品開発に向けスケジュール及び内容の検討。 台湾・イギリスの販路拡大事業について内容検討。 ②未実施。 ③真岡商工会議所内にあるインキュベーションセンター訪問。概略について伺うが、担当者が6月末まで不在のため、7月に再度訪問し、詳細に教示していただくことになった。 ④かさましこ観光協議会においてフリーペーパーを作成し、誘客促進のPR。	①新商品開発に向けたスケジュール管理。 台湾8/2～8/5、イギリス1/15～1/17の実施に向け契約締結、内容検討。 ②商工会、マルシェ、シルバー人材センターから情報収集。 ③インキュベーションセンターを視察し、設置について検討する。 ④新たなターゲット向けの冊子作成内容について検討。
第2 四 半 期	①台湾トップセールス実施済。 イギリス販路拡大事業、事業スケジュールに基づき着手。 深澤デザインと新商品開発に向けた打合せ。 ②未実施 ③インキュベーションセンター設置について検討。 ④かさましこフリーペーパー多言語版制作に向け翻訳作業着手。 かさましこ観光協議会において、第2号のフリーペーパーの内容検討。	①イギリスの販路拡大事業に関するスケジュール管理。 新商品開発に向けたスケジュール管理。 ②商工会、道の駅、シルバー人材センターから情報収集。 ③インキュベーションセンター設置について検討。 ④フリーペーパー多言語版の配布先検討。 第2号フリーペーパーの内容及び構成について検討。
第3 四 半 期	①イギリス販路拡大事業、事業スケジュールに基づき着手。 深澤デザインと新商品開発に向けた現地視察、意見交換会。 ②未実施 ③インキュベーションセンター設置について検討。 ④かさましこフリーペーパー多言語版制作に向け翻訳作業。 かさましこ観光協議会において、第2号のフリーペーパーの内容検討、制作着手。 かさましこ観光協議会において、MAP制作打合せ、プロモーションビデオの制作。	①イギリスの販路拡大事業に関するスケジュール管理。 新商品開発に向けたスケジュール管理。 ②商工会、道の駅、シルバー人材センターから情報収集。 ③インキュベーションセンター設置については、他市の設置状況及び利用状況等から、当町における設置・運営方法について関係団体と検討。 ④フリーペーパー多言語版の配布先検討。 MAP及び留学生モニターツアー、プロモーションビデオ制作に向け内容検討。
第4 四 半 期	①イギリス販路拡大事業実施。 深澤デザインと新商品開発に向けた試作品製作。 台湾及びイギリスの販路拡大事業、事業報告、両事業とも現地では好評であった。 ②情報収集作業に取り掛かれなかった。 ③インキュベーションセンター設置について検討。 ④かさましこフリーペーパー多言語版制作、留学生モニターツアー、マップ、プロモーションビデオの制作。	①台湾旅行博出展での観光PRと益子焼販路拡大事業 イギリスの販路拡大事業に関する企画。 友好都市5周年記念事業に関する企画。 新商品開発の販路に向けた調整。 ②商工会、道の駅、シルバー人材センターから情報収集。 ③インキュベーションセンター設置については、他市の設置状況及び利用状況等から、当町における設置・運営方法について関係団体と検討。 ④かさましこ協議会としてイパカド誘客促進対応事業の検討。

		⑤外部検証委員からの意見・提言	⑥議会からの意見・提言	⑦外部検証委員・議会からの意見・提言を受けての次期(次年度)以降への方針・改善点
上半期	第1 四半期	委員の検証及び意見・提言 ①継続性について このまま継続・・・4委員 改善・見直し、廃止・終了・・・なし		①～④関係団体と連携し、事業の推進を図っていく。
	第2 四半期	②意見・提言 実施計画に沿い各課連携を図られ実行されたい。		
総括 (下半期も含む)	第3 四半期	委員の検証及び意見・提言 ①継続性について このまま継続・・・4委員 改善・見直し、廃止・終了・・・なし		①～④関係団体と連携し、事業の推進を図っていく。
	総括 (第4 四半期も含む)	②意見・提言 実施計画に沿い各課連携を図られ実行されたい。		

新ましこ未来計画推進シート シート1【 計画・実施状況シート 】

		課局名	農政課		
基本目標	風土に根ざした産業をつくる	政策	スモールビジネスの推進と起業支援による産業づくり		
施策	世界一が集う焼きものの町づくり	進捗状況	100%		
KPI	益子焼総販売額	本年度目標値	35億円 (H25)	現状値	29.2億 (H28)
KPI		本年度目標値		現状値	
KPI		本年度目標値		現状値	
		①年間計画（スケジュール・工程）		②実施内容・実績・成果	
主な 取組 内容	4月	③益子の暮らしの提案に関する展示企画内容（第1回）の検討。		③地域振興拠点施設企画展示の業務仕様を定める。 ③4/21受託者である株式会社ましこカンパニーと業務委託契約（第1回）を締結。	
	5月			③5/13交流部門会議 ③5/27経営会議	
	6月			③展示に関する企画内容の確認・調整を行う。 ③6/1、6/17部門別会議 ③関係協議3回 ③6/21株主総会・経営会議	
	7月	③受託者が企画展示（第1回）に向けた準備を行う。 ③受託者が益子の暮らしの提案について企画展示内容（第2回）を検討する。		③7/4、7/15、7/20企画展示の内容確認・調整を行う ③飲食における器づかいについて、使用する器類の選定を行なう	
	8月			③企画展示詳細の決定 ③次回開催予定の企画展示に関する調整 ③その他道の駅事業に関する進行管理5回	
	9月			③企画展示打合せ（随時実施） ③9/16実施者との経営会議 ③9月下旬実施氏やとの現場打合せ ③次期企画の実施調整	
	10月	③受託者が益子の暮らしを提案するための企画展示（第1回）を行う。 ③受託者が企画展示（第2回）に向けた準備を行う。		③第一回目となる企画展示「益子で紡ぐ暮らし」を10/12より開始した。 ③次期企画について請負者との実施調整を行い、契約を締結するとともに準備を開始した。	
	11月			③第一回目となる企画展示を継続して展示するとともに次期企画について準備を進める。 ③ワークショップの実施について検討・協議を行った。	
	12月			③第一回目となる企画展示を継続して展示するとともに次期企画について準備を継続して行なった。 ③企画展示に関する連動企画としてワークショップを実施した。	
	1月	③受託者が益子の暮らしを提案するための企画展示（第2回）を行う。 ③次年度の企画展示内容について検討を開始。		③第一回目の企画展示が終了、次回展示の準備を行なう。 ③企画展示に関する講演会（日下田正）を1/22実施。	
	2月			③第二回目となる企画展示「土は語る～過去編」を開会。今後、土が育んできた益子焼を過去・現在・未来の三部構成で展示を行なう予定。	
	3月	行動③ 道の駅を拠点に益子焼などの工芸品を暮らしの空間に取り入れられるよう推進します。		③第二回目となる企画展示「土は語る～過去編」を展示。次月から土が育んできた益子焼の企画展示、現在編の展示を行なう予定。	

	③担当課の点検・検証 ②を踏まえ、取組の必要性、効率性、有効性、改善点などを洗い出し、現時点の課題整理まで行う。	④次期四半期(第4四半期は、次年度) 以降の課題への方針・改善点
第1 四半期	業務仕様に基づき、指定管理者と業務の実施に向けた協議検討を行なった。	時期開催に向けた準備に着手する必要がある。
第2 四半期	業務仕様に基づき、指定管理者と業務の実施に向けた調整を行なった。 企画展示の内容もまとめ、道の駅オープンに併せた展示を行なうことから展示に向けた最終調整を行う。	次期開催の内容について企画し、展示に向けた準備を行なう必要がある。今後定期的かつ継続的に行なうために長いスパンでその内容等について検討を行なう必要がある。
第3 四半期	これまでの準備期間を経て、10/15に地域振興拠点施設がオープンした。指定管理者は、業務仕様及び管理協定に基づき施設の管理運営を開始。 併せて第1回目の企画展示を開始したが、展示管理等について一部課題が残った。	企画展示については展示品の管理や説明までを受託者自らがその場で行なう必要がある。この事業は暮らしの提案を行なうものであるが、必ずしも十分な管理運営とはいえる状態になく、課題を残すものであったことから次回展示より改善を図るものとする。
第4 四半期	本年度計画していた2回の企画展示終え、目標を達成することができた。 次年度の企画内容について、実施者と協議調整が必要である。	何をもちて益子の暮らしと定義付け、誰をその対象とするのか。また町内への誘客施策はどうするかなど企画展示のあり方、目的などを明確にし、実施者と十分な協議調整の上、行うものとする。

		⑤外部検証委員からの意見・提言	⑥議会からの意見・提言	⑦外部検証委員・議会からの意見・提言を受けての次期(次年度)以降への方針・改善点
上半期	第1四半期	委員の検証及び意見・提言 ①継続性について このまま継続・・・4委員 ②意見・提言 実施計画に沿い各課連携を図られ実行されたい。		②方針 今後も継続して企画展示を行なっていく。
	第2四半期			
総括（下半期も含む）	第3四半期	委員の検証及び意見・提言 ①継続性について このまま継続・・・4委員 ②意見・提言 実施計画に沿い各課連携を図られ実行されたい。		②方針 このまま継続して実施していく。
	総括（第4四半期も含む）			

新ましこ未来計画推進シート シート1【 計画・実施状況シート 】

		課局名	観光商工課		
基本目標	風土に根ざした産業をつくる	政策	スモールビジネスの推進と起業支援による産業づくり		
施策	「世界一」人が集う焼きものの町づくり	進捗状況	10%		
KPI	益子焼総販売額	本年度目標値	35億円 (H25)	現状値	29.2億 (H28)
KPI		本年度目標値		現状値	
KPI		本年度目標値		現状値	
		①年間計画（スケジュール・工程）		②実施内容・実績・成果	
主な取組内容	4月			①4/19県工業振興課担当者と地方創生事業によるデザインとの新商品開発について打合せ。	
	5月	①深澤直人氏との新商品開発について業務契約。 ②益子焼を使おう条例案検討。 ③道の駅を拠点に、益子焼などの工芸品を暮らしの空間に取り入れられるよう推進。 ④益子国際工芸交流館を拠点に、世界中から焼きものを学びに来る仕組みづくりの構築。 ⑤窯業技術支援センターでの人材育成を支援。		①地方創生事業 5/10「第1回栃木県陶磁器産地振興協議会」出席。 ③益子焼作家DBシステムを利用して、道の駅に展示協力してくれる作家募集予定（道の駅担当）。 ④HPにて、公募プログラム2016-2017募集開始（8月末締切）。 ⑤伝統工芸品産業支援補助金活用による人材育成事業への協力のため、補助金説明会に出席。	
	6月			①6/1深澤デザインと契約。 ②益子焼を使おう条例案検討。 ④5/27～7/9迄、イギリス人陶芸家ジャック・ド・ハヴィ氏滞在。	
	7月			①地方創生事業 7/1NY販路開拓事業出品者事業説明会。 深澤デザイン新商品打合せ。 ③7/4 益子焼協同組合とDB再構築業務契約	
	8月	①深澤直人氏との新商品開発業務。 ②益子焼を使おう条例の検討。 ③道の駅を拠点に、益子焼などの工芸品を暮らしの空間に取り入れられるよう推進。 ④益子国際工芸交流館を拠点に、世界中から焼きものを学びに来る仕組みづくりの構築。 ⑤窯業技術支援センターでの人材育成を支援。 ⑥県と連携し、益子芳星高校で行われている益子焼（陶芸）の授業など特色ある教育授業の充実に協力のための検討。		①地方創生事業 8/1NY販路開拓事業出品者事業市場環境説明会。 深澤デザインと新商品開発スケジュールについて打合せ 8/10、8/31英国販路拡大事業打合せ 8/30NY販路開拓事業マーケットトレンドセミナー ⑤益子焼人材確保・後継者育成セミナー（参加者：スキルアップ：1回5名・ステップアップ：1回18名）の開催 県窯業技術支援センター	
	9月			①地方創生事業 9/2「第2回栃木県陶磁器産地振興協議会」。 NY販路開拓アドバイザーセミナー 9/29、9/30。 深澤デザインと新商品開発に向け随時打合せ。 ④公募プログラム2016-2017応募者（4名）から該当者2名決定（9/27） ⑤益子焼人材確保・後継者育成セミナー（参加者：スキルアップ：3回15名・ステップアップ：2回22名）の開催 県窯業技術支援センター	
	10月	①深澤直人氏との新商品開発業務。 ②益子焼を使おう条例の検討。 ③道の駅を拠点に、益子焼などの工芸品を暮らしの空間に取り入れられるよう推進。 ④益子国際工芸交流館を拠点に、世界中から焼きものを学びに来る仕組みづくりの構築。 ⑤窯業技術支援センターでの人材育成を支援。 ⑥県と連携し、益子芳星高校で行われている益子焼（陶芸）の授業など特色ある教育授業の充実に協力のための検討。		①深澤デザインと新商品開発に向け現地視察 10/17 ④10/27～11/25迄、イギリス人染色家リサ・ブッシュン氏滞在 ⑤益子焼人材確保・後継者育成セミナー（参加者：スキルアップ：3回15名・ステップアップ：2回38名）の開催 県窯業技術支援センター	
	11月			①深澤デザインと新商品開発に向け現地視察 11/24 ④11/8～11/17迄、イギリス陶芸家クリス・ボーン氏滞在。 ③益子焼人材確保・後継者育成セミナー（参加者：スキルアップ：1回5名・ステップアップ：1回5名）の開催 県窯業技術支援センター ⑥益子芳星高校へ、支援内容について相談	
	12月			①深澤デザインと新商品開発に向け意見交換会 12/8 ⑤窯業技術支援センター伝習生募集について広報ましこお知らせ版12月下旬掲載 ⑥益子焼人材確保・後継者育成セミナー（参加者：スキルアップ：1回12名・ステップアップ：1回17名）の開催 県窯業技術支援センター	
	1月	①深澤直人氏との新商品開発業務。 ②益子焼を使おう条例の制定。 ③道の駅を拠点に、益子焼などの工芸品を暮らしの空間に取り入れられるよう推進。 ④益子国際工芸交流館を拠点に、世界中から焼きものを学びに来る仕組みづくりの構築。 ⑤窯業技術支援センターでの人材育成を支援。 ⑥県と連携し、益子芳星高校で行われている益子焼（陶芸）の授業など特色ある教育授業の充実に協力のための検討。		①深澤デザインと新商品開発に向け意見交換会 1/19 ⑤益子焼人材確保・後継者育成セミナー（参加者：スキルアップ：2回7名）の開催 県窯業技術支援センター	
	2月			⑤益子焼人材確保・後継者育成セミナー（参加者：スキルアップ：3回12名・ステップアップ：1回12名）の開催 県窯業技術支援センター	
	3月			①深澤デザインと新商品開発に向け試作品の意見交換会 3/16。 ④3/9～3/15迄、イギリス人陶芸家ジャック・ド・ハヴィ氏滞在。 3/4～5/2迄、公募作家アン・マ・ジョワイ氏滞在。 3/25～5/2迄、公募作家カーナ・スカート氏滞在。	

	③担当課の点検・検証 ②を踏まえ、取組の必要性、効率性、有効性、改善点などを洗い出し、現時点の課題整理まで行う。	④次期四半期(第4四半期は、次年度) 以降の課題への方針・改善点
第1 四半期	①深澤デザイン事務所と契約済。新商品開発に向けたスケジュール及び内容の検討。 ②益子焼を使おう条例案について他市町の条例を参考に内容を検討中。 ③DBシステムの再構築に向けた検討。 ④イギリス人陶芸家ジャック・ト・ハティ氏のワークショップ・講演会等の実施。158人(6回) ⑤窯業技術支援センターで実施する人材育成事業協力のための補助金交付予定。	①新商品開発に向けたスケジュール管理。 ②益子焼を使おう条例案の作成。 ③DBシステム再構築に向け契約締結。 ⑤補助金申請および事業実施のための支援について情報等要確認。
第2 四半期	①深澤デザインと新商品開発に向けた打合せ。 イギリス販路拡大事業、事業スケジュールに基づき着手。 ③DBシステムの再構築に向けて着手(掲載内容について再調査)。 ⑤窯業技術支援センターにおいて、人材育成セミナー開始。	①新商品開発に向けたスケジュール管理。 イギリスの販路拡大事業に関するスケジュール管理。 ②益子焼を使おう条例案の作成。 ③DBシステム再構築のWeb内容について検討。 ⑤窯業技術支援センターにおける人材育成セミナーへの支援。
第3 四半期	①深澤デザインと新商品開発に向けた現地視察及び意見交換会の実施。 ④イギリス人陶芸家クリス・ウィグモアのワークショップの実施。25人(1回) イギリス人染織家リンダ・ブラントンのワークショップ・講演会等の実施。114人(6回) ⑤窯業技術支援センターでの人材育成セミナーの実施。 ⑥益子芳星高校への支援方法について高校と相談し、内容検討。	①新商品開発に向けたスケジュール管理。 ②益子焼を使おう条例の制定に向けた検討。 ⑤窯業技術支援センターにおける人材育成セミナーへの支援、及び伝習生募集への協力。 ⑥益子芳星高校への支援方法について、実施に向けた検討。
第4 四半期	①深澤デザインと新商品開発に向けた試作品制作。 ②益子焼を使おう条例案を課内で協議するまで至らなかった。 ④イギリス人陶芸家ジャック・ト・ハティ氏のギャラリートークの実施。25人(1回) 公募作家アノ・テ・オウツイ氏の記念講演会の実施。28人(1回) ⑤窯業技術支援センターでの人材育成セミナーは好評であった。	①新商品の販路に向けた調整。 ②益子焼を使おう条例の制定に向けた検討。 ③道の駅を拠点に、益子焼などの工芸品を暮らしの空間に取り入れられるよう関係課と連携する。 ④プログラムのスケジュール上、次年度にかかり事業を継続中となる。さらなる国際工芸交流プログラムの推進を図る。 ⑤窯業技術支援センターで行われる人材育成に対する支援を継続。 ⑥益子芳星高校に対し、事業費の支援。

		⑤外部検証委員からの意見・提言	⑥議会からの意見・提言	⑦外部検証委員・議会からの意見・提言を受けての次期(次年度)以降への方針・改善点
上半期	第1 四半期	委員の検証及び意見・提言 ①継続性について このまま継続・・・4委員 改善・見直し、廃止・終了・・・なし ②意見・提言 実施計画に沿い各課連携を図られ実行されたい。		①関係団体と連携し、事業の推進を図っていく。 ②益子焼を使おう条例制定に向けた検討。 ③窯業技術支援センターの人材育成への継続した支援の実施。 ④益子芳星高校への支援方法についての検討。
	第2 四半期			
総括（下半期も含む）	第3 四半期	委員の検証及び意見・提言 ①継続性について このまま継続・・・4委員 改善・見直し、廃止・終了・・・なし ②意見・提言 益子焼＋〇〇といったコラボ商品の開発も視野に入れて取り組まれたい。		①新商品の販路開発に向け、関係者と連携を図り事業支援を図っていく。 ②益子焼を使おう条例制定及び推進事業の検討。 ③関係課と協力し、推進していく。 ④国際工芸交流プログラム（招聘・公募）を円滑に進めていく。 ⑤人材育成のための支援方法は継続し、内容について、関係団体と検討する。 ⑥高校が予定している事業へ協力していく。
	総括（第4 四半期も含む）			

新ましこ未来計画推進シート シート1【 計画・実施状況シート 】

		課局名	環境課		
基本目標	風土に根ざした産業をつくる	政策	スモールビジネスの推進と起業支援による産業づくり		
施策	就労支援と雇用創出	進捗状況	100%		
KPI	有効求人倍率	本年度目標値	0.6	現状値	0.51(年平均)
KPI		本年度目標値		現状値	
KPI		本年度目標値		現状値	
		①年間計画（スケジュール・工程）		②実施内容・実績・成果	
主な 取組 内容	4月			未実施	
	5月	④上大羽大六天整備のための現地確認等	④上大羽大六天現地踏査		
	6月			④上大羽大六天整備に向けたみどり推進機構との連絡調整	
	7月			④上大羽大六天整備に向けてシルバー人材センターとの現地確認及び竹チップを貸与を受けるための連絡調整	
	8月	④上大羽大六天整備のための見積書の徴集	④上大羽大六天整備に向けてシルバー人材センターとの実施日を設定		
	9月			④上大羽大六天整備に向けてシルバー人材センターとの業務委託を締結済	
	10月			④上大羽大六天整備に向けてシルバー人材センターとの業務委託による現地確認	
	11月	④上大羽大六天整備	④上大羽大六天整備に向けてシルバー人材センターとの業務委託の完了		
	12月			④上大羽大六天整備に向けてシルバー人材センターとの業務委託の完了による検査復命	
	1月			④二度目の上大羽大六天整備に向けてシルバー人材センターとの業務委託の完了	
	2月	④上大羽大六天整備（追加）	④二度目の上大羽大六天整備に向けてシルバー人材センターとの業務委託の完了による検査復命		
	3月				

	③担当課の点検・検証 ②を踏まえ、取組の必要性、効率性、有効性、改善点などを洗い出し、現時点の課題整理まで行う。	④次期四半期(第4四半期は、次年度) 以降の課題への方針・改善点
第1四半期	④大六天町有林（竹林）の整備にあたっては、機械等はみどり推進機構より貸与できるよう連絡協議している状況である。シルバー人材センタへ効率的な業務委託ができるよう努めていく必要がある。	④竹林の整備はシルバー人材センターへ委託することになるが、効率的業務を実施するためには、稼働力のある竹チップパー等機器等を貸与し作業することにより委託額が安価にすることができる。今後みどり推進機構と貸与について連絡調整を図っていく。
第2四半期	④大六天町有林（竹林）の整備にあたっては、竹チップパー機を、みどり推進機構より貸与されシルバー人材センターとの業務委託を締結している状況である。シルバー人材センターが効率的な業務が実施できるよう地元自治会他と連絡を密にすることが必要である。	④竹林の整備を効率的業務を実施するためには、貸与された竹チップパーがどの程度駆動力があるか把握することが大切である。また、町有林内の放置竹林箇所等の把握し、実施箇所を検討することが必要となる。
第3四半期	④大六天町有林（竹林）の整備にあたっては、竹チップパー機を、みどり推進機構より貸与されシルバー人材センターとの業務委託を締結している状況である。シルバー人材センターが効率的な業務が実施できるよう地元自治会他と連絡を密にすることが必要である。	④大六天町有林（竹林）の整備については、竹チップパーを、みどり推進機構より貸与され、シルバー人材センターの効率的な業務により完了した。
第4四半期	④大六天町有林（竹林）の整備にあたっては、竹チップパー機を、みどり推進機構より貸与されシルバー人材センターとの業務委託を締結している状況である。シルバー人材センターが効率的な業務が実施できるよう地元自治会他と連絡を密にすることが必要である。	④次年度は松本町有林（竹林）の整備を予定、シルバー人材センターに貸与している竹チップパーを活用して効率的な作業を予定している。

		⑤外部検証委員からの意見・提言	⑥議会からの意見・提言	⑦外部検証委員・議会からの意見・提言を受けての次期(次年度)以降への方針・改善点
上半期	第1四半期	委員の検証及び意見・提言 ①継続性について このまま継続・・・4委員 改善・見直し、廃止・終了・・・なし ②意見・提言 実施計画に沿い各課連携を図られ実行されたい。		関係課及びシルバー人材センターとの適切な連携を図る。
	第2四半期			
総括（下半期も含む）	第3四半期	委員の検証及び意見・提言 ①継続性について このまま継続・・・4委員 改善・見直し、廃止・終了・・・なし ②意見・提言 実施計画に沿い各課連携を図られ実行されたい。		高齢者支援課の竹チップパーを活用し、引き続きシルバー人材センターと連携を図っていく。
	第4四半期			

新ましこ未来計画推進シート シート1【 計画・実施状況シート 】

		課局名	高齢者支援課		
基本目標	風土に根ざした産業をつくる	政策	スモールビジネスの推進と起業支援による産業づくり		
施策	就労支援と雇用創出	進捗状況	40%		
KPI	有効求人倍率	本年度目標値	0.6	現状値	0.51(年平均)
KPI		本年度目標値		現状値	
KPI		本年度目標値		現状値	
		①年間計画（スケジュール・工程）		②実施内容・実績・成果	
主な取組内容	4月	①社会福祉法人の誘致（特別養護老人ホーム整備法人募集の告示、募集要項配布、事業者説明会） ④シルバー人材センターの請負業務拡大		①特別養護老人ホーム整備法人募集の告示（4/1）、募集要項配布（4/11～）、事業者説明会（5/10） ④シルバー人材センターヘウッドチップperを貸与（4/5、18）	
	5月			①特別養護老人ホーム整備事業者説明会（5/10） ④シルバー人材センターヘウッドチップperを貸与（5/24）	
	6月			④シルバー人材センターヘウッドチップperを貸与（6/6、7、8、27、28、30）	
	7月	①社会福祉法人の誘致（特別養護老人ホーム整備法人応募書類受付、プレゼンテーション及び面接、法人選定審査会、決定） ④シルバー人材センターの請負業務拡大		④シルバー人材センターヘウッドチップperを貸与（7/1）	
	8月			①8/10特別養護老人ホーム応募締切 応募なし。	
	9月	④シルバー人材センターの請負業務拡大		④9/7ウッドチップper講習会開催 22名参加 シルバー人材センターヘウッドチップperを貸与（9/26、27、28）	
	10月			④シルバー人材センターヘウッドチップperを貸与（10/3、4、5、6、24、25）	
	11月				
	12月	①社会福祉法人の誘致（特別養護老人ホーム整備法人募集の公告（1/6）、事業所説明会（1/27）、応募締め切り（3/14）） ④シルバー人材センターの請負業務拡大		①特別養護老人ホーム整備法人募集の公告（1/6）、町ホームページ上及びダイレクトメール 事業所説明会（1/27）を実施、5事業所が参加、問題点や要望を聴取した ④シルバー人材センターヘウッドチップperを貸与（1/6、11、13、17、18、19、23、24、25、26、27、30、31）	
	1月			④シルバー人材センターヘウッドチップperを貸与（2/1、2、3、6、7、8、9、13、14、15、17、20、21、24、25、26、27、28）	
	2月			①特別養護老人ホーム整備法人の応募締め切り（3/14）応募なし ④シルバー人材センターヘウッドチップperを貸与（3/1、3、6、7、11、13、16、17、28、30、31）	
	3月				

	③担当課の点検・検証 ②を踏まえ、取組の必要性、効率性、有効性、改善点などを洗い出し、現時点の課題整理まで行う。	④次期四半期(第4四半期は、次年度)以降の課題への方針・改善点
第1四半期	①の特別養護老人ホーム整備法人の募集に関しては、設計に必要な事項については、実施要綱に定める質問事項とは別に、早急な対応をとった。また、自己所有地を利用した施設整備も可能になるよう、町村会をとおして栃木県に対し、「50戸連担」の考え方を緩和するよう要望を提出した。 また、土地の取得や町所有地の利用に関する問い合わせがあり、資材の高騰や報酬改正の影響が顕著にあることを伺わせている。安価に整備することが、利用料金に跳ね返ってくることから、検討の余地がある。	①については、応募の締切の直後から2次募集をかけなければならない事態も想定し、土地の利用の仕方についても準備をしておくことが必要。 財務省の動きを見ていると、介護保険制度の報酬改正、補足給付の改正へとつながってきており、今後の絞り方としては、補助金の部分が懸念される。
第2四半期	①の応募については、整備の意思のある法人があるものの、土地の交渉や立地場所に埋蔵文化財のある可能性があったことなどにより、申請書は提出されなかった。引き続き、土地の交渉に努めていただいている状況。 一方、厚労省としては、サテライト型の特別養護老人ホーム整備の際には、民有地の賃貸借も可能とする緩和策を出してきたが、本体施設に関する部分については緩和措置がされていない。民有地の賃貸借については、所有権の移動よりも強固な権利(利用権の登記)の設定により、地盤の安定性は図れるが、所有権異動後の利用料金の安定性には課題が残る。利用料金の安定性が、きちんと担保できる手法を研究していく必要がある。	土地の賃借について、所有権の移動後の利用料金の安定性(価格の急激な上昇)を確保するための方法を継続して見出ししていく必要がある。
第3四半期	現在の募集要綱における土地の要件については、町村会をとおして栃木県への要望をしたところ。この回答を待って、土地に関する要件の新たな設定を考えていく予定。	国の要綱の再確認を行い、都市計画法、農地法の制限事項を整理するとともに、民法及び借地借家法における利用権の設定、借地期間等に関してまとめあげ、町の集落形成状況等を勘案した中で、要綱案の作成を検討していく。
第4四半期	国では、土地の賃借も条件をつけて可能としていることから、次年度においては、県の方針が明らかになってくるものと思われる。町としてはその方向性に沿った形で考えていく。	県の方針の内容を確認し、再度、要綱の見直しを検討していく。またその際には、施設入所待機者の数や特別養護老人ホームとの併設可能な事業所についても検討していく必要がある。

		⑤外部検証委員からの意見・提言	⑥議会からの意見・提言	⑦外部検証委員・議会からの 意見・提言を受けての 次期(次年度)以降への方針・改善点
上半期	第1 四半期	委員の検証及び意見・提言 ①継続性について このままこのまま継続・・・4委員 改善・見直し、廃止・終了・・・なし		平成29年度に動き出せるよう事業者への アドバイス等、可能な限りを尽くしてい く。
	第2 四半期	②意見・提言 実施計画に沿い各課連携を図られ実行さ れたい。		
総括 (下半期も含む)	第3 四半期	委員の検証及び意見・提言 ①継続性について このままこのまま継続・・・4委員 改善・見直し、廃止・終了・・・なし		誘致計画が前進するよう、今後も事業者 への情報提供や助言等を引き続き行ってい きたい。
	総括 (第4 四半期 も含む)	②意見・提言 実施計画に沿い各課連携を図られ実行さ れたい。		

新ましこ未来計画推進シート シート1【 計画・実施状況シート 】

		課局名	農政課			
基本目標	風土に根ざした産業をつくる		政策	スモールビジネスの推進と起業支援による産業づくり		
施策	就労支援と雇用創出		進捗状況	100%		
KPI	有効求人倍率		本年度目標値	0.6	現状値	0.51(年平均)
KPI			本年度目標値		現状値	
KPI			本年度目標値		現状値	
		①年間計画（スケジュール・工程）		②実施内容・実績・成果		
主な 取組 内容	4月	④たけのこの放射能検査の実施。	④たけのこの放射農検査の実施。（4/15）			
	5月		未実施			
	6月		未実施			
	7月	未実施	未実施			
	8月		未実施			
	9月		未実施			
	10月	未実施	未実施			
	11月		未実施			
	12月		未実施			
	1月	未実施	未実施			
	2月		未実施			
	3月		未実施			

	③担当課の点検・検証 ②を踏まえ、取組の必要性、効率性、有効性、改善点などを洗い出し、現時点の課題整理まで行う。	④次期四半期(第4四半期は、次年度) 以降の課題への方針・改善点
第1 四半期		
第2 四半期		
第3 四半期		
第4 四半期		

		⑤外部検証委員からの意見・提言	⑥議会からの意見・提言	⑦外部検証委員・議会からの意見・提言を受けての次期(次年度)以降の方針・改善点
上半期	第1四半期	委員の検証及び意見・提言 ①継続性について このまま継続・・・4委員 ②意見・提言 実施計画に沿い各課連携を図られ実行されたい。		関係課と連携していく。
	第2四半期			
総括（下半期も含む）	第3四半期	委員の検証及び意見・提言 ①継続性について このまま継続・・・4委員 ②意見・提言 実施計画に沿い各課連携を図られ実行されたい。		②方針 実施主体課において業務を実施していく。
	第4四半期も含む			

新ましこ未来計画推進シート シート1【 計画・実施状況シート 】

		課局名	観光商工課		
基本目標	風土に根ざした産業をつくる	政策	スモールビジネスの推進と起業支援による産業づくり		
施策	就労支援と雇用創出	進捗状況	100%		
KPI	有効求人倍率	本年度目標値	0.6	現状値	0.51(年平均)
KPI		本年度目標値		現状値	
KPI		本年度目標値		現状値	
		①年間計画（スケジュール・工程）		②実施内容・実績・成果	
主な取組内容	4月			①HPにて公開中。 ②求職者向け、事業者向けセミナー開催についてのリーフレットを作成し、自治会全戸配布及び広報「お知らせ版」掲載。	
	5月	①町HPにおいて企業誘致制度のPR。 ②求職者を対象としたセミナーの開催および合同就職面接会の広報。 ③雇用支援奨励金制度についての検討。		②おもてなし人材スキルアップセミナー（3回47人）。 ②新商品開発セミナーほっとパック技術で売れる農産物加工商品を作る（4回67人）。 ②広報「お知らせ版」求職者のための巡回相談会掲載：会場（上三川町）	
	6月			②おもてなし人材スキルアップセミナー（2回28人）。 ②新商品開発スキルアップセミナー（3回52人）。 ②ITビジネス能力スキルアップセミナー（3回47人）。 ②事業者向けセミナー9月開催分のリーフレット作成、自治会全戸配布。	
	7月			②新商品開発スキルアップセミナー（1回13人）。 ②ITビジネス能力スキルアップセミナー（1回12人）。 ②広報「お知らせ版」とちぎUIJターン就職支援合同面接巡回相談会掲載：会場（東京）。 ②広報「お知らせ版」「栃木障害者合同就職面接会」広報	
	8月	①町HPにおいて企業誘致制度のPR。 ②求職者を対象としたセミナーの開催および合同就職面接会の広報。 ③雇用支援奨励金制度についての検討。		①8月末に倉庫を建設するための土地に関する問合せがあり、町内の土地を紹介するも、条件合わず。 ②おもてなし人材スキルアップセミナー（1回21人）。 ②広報「お知らせ版」とちぎUIJターン就職支援合同面接巡回相談会掲載：会場（東京）。 ②広報「お知らせ版」とちぎの企業！魅力体験バスツアーによる学生就職支援事業掲載：会場（栃木県内）。 ③雇用支援奨励金制度要綱検討。	
	9月			②おもてなし人材スキルアップセミナー（4回66人） ②IT戦略習得セミナー（3回24人） ②広報「お知らせ版」求職者とシニアのための巡回相談会＆巡回セミナー掲載：会場（栃木県河内庁舎）。 ③雇用支援奨励金制度要綱検討。	
	10月	①町HPにおいて企業誘致制度のPR。 ②求職者を対象としたセミナーの開催および合同就職面接会の広報。 ③雇用支援奨励金制度についての検討。		②成果物公開セミナー（1回：1社参加） ②合同就職面接会参加企業募集チラシの作成。 ②広報「お知らせ版」就労をめざす若者のための3カ月集中キャリア講座掲載：会場（小山市）。 ③雇用支援奨励金制度要綱検討。	
	11月			②ITビジネス能力スキルアップセミナー（2回19人）②合同就職面接会企業募集通知送付52社 ②6次産業化と起業・創業にかかるノウハウ習得セミナー（1回6人） ②合同就職面接会のチラシを新聞折込及び広報ましこおしらせ版へ参加企業、参加者募集の記事掲載	
	12月			②ITビジネス能力スキルアップセミナー（2回18人）。②6次産業化と起業・創業にかかるノウハウ習得セミナー（3回24人） ②広報「おしらせ版」益子町合同就職面接会、とちぎ就職支援合同面接会記事掲載。③益子町雇用支援奨励金交付要綱策定。	
	1月			②合同就職面接会開催チラシ新聞折込による周知。 ②広報「おしらせ版」益子町合同就職面接会記事掲載。	
	2月	①町HPにおいて企業誘致制度のPR。 ②町内合同就職面接会の開催および次年度セミナー開催についての検討。 ③雇用支援奨励金制度についての新設。		②合同就職面接会開催 1回（参加企業16社 参加者33人）②次年度セミナー担当者打ち合わせ 2回 ②広報「お知らせ版」求職者とシニアのための巡回相談掲載：会場（真岡市）③雇用支援奨励金チラシ自治会回覧、町内金融機関、商工会、道の駅、合同就職面接会参加企業へ配付。	
	3月			②成果物公開セミナー（1回1人） ②次年度セミナー打ち合わせ 3回 ③雇用支援奨励金問合せ 1件	

	③担当課の点検・検証 ②を踏まえ、取組の必要性、効率性、有効性、改善点などを洗い出し、現時点の課題整理まで行う。	④次期四半期(第4四半期は、次年度) 以降の課題への方針・改善点
第1 四半期	②おもてなし人材スキルアップセミナー、新商品開発セミナー、ITビジネスアップセミナーを開催し、それぞれ定員を超える受講者があり、好評である。	①HPによる継続した企業誘致制度のPR ②今後も各セミナーの開催を予定しており、募集に力を入れていくとともに、各地で開催される就職説明会に関する情報を発信していく。 ③他市町ですでに実施している制度を参考に検討。
第2 四半期	②おもてなし人材スキルアップセミナー、ITビジネスアップセミナー、IT戦略を習得するセミナーを開催し、好評である。 ③雇用支援奨励金制度要綱内部検討。	①HPによる継続した企業誘致制度のPR ②今後も各セミナーの開催を予定しており、募集に力を入れていくとともに、各地で開催される就職説明会に関する情報を発信していく。 ③雇用支援奨励金制度要綱検討。
第3 四半期	②ITビジネス能力スキルアップセミナー、6次産業化と起業創業にかかるノウハウ習得セミナーを開催し、好評である。 ③益子町雇用支援奨励金交付要綱策定。	①HPによる継続した企業誘致制度のPR ②12月でセミナーは終了した。今後、セミナー参加者が就職に結びつくよう支援する。また、合同就職面接会に向けての準備。 ③雇用支援奨励金制度の周知。
第4 四半期	②合同就職面接会には町内企業等、16社に参加いただいた。また、求職者は33人参加があり、求職者に対して参加企業等が多く、面接時間を多く確保することができた。	②求職者向け・事業所向けセミナー、および合同就職面接会を開催し、就職を希望する人や事業所を支援し、雇用の拡大を図る。 ③雇用支援奨励金制度のPR方法の検討。

		⑤外部検証委員からの意見・提言	⑥議会からの意見・提言	⑦外部検証委員・議会からの意見・提言を受けての次期(次年度)以降への方針・改善点
上半期	第1四半期	委員の検証及び意見・提言 ①継続性について このまま継続・・・4委員 改善・見直し、廃止・終了・・・なし ②意見・提言 実施計画に沿い各課連携を図られ実行されたい。		①～③関係各課及び団体と連携を図り、事業の推進を図っていく。
	第2四半期			
総括(下半期も含む)		委員の検証及び意見・提言 ①継続性について このまま継続・・・4委員 改善・見直し、廃止・終了・・・なし ②意見・提言 実施計画に沿い各課連携を図られ実行されたい。		①～③関係各課及び団体と連携を図り、事業の推進を図っていく。特に②の事業推進においては、国からの地方創生推進交付金を活用し、実施していく。

新ましこ未来計画推進シート シート1【 計画・実施状況シート 】

		課局名	観光商工課				
基本目標	風土に根ざした産業をつくる		政策	観光の基幹産業化			
施策	観光客誘客の拡大		進捗状況	72%			
KPI	観光客入込数		本年度目標値	200万人	現状値	213.7万人	
KPI	観光客宿泊者数		本年度目標値	21,000人	現状値	36,798人	
KPI			本年度目標値		現状値		
			①年間計画（スケジュール・工程）		②実施内容・実績・成果		
主な取組内容	4月	①観光戦略会議設置に向けた組織づくりの検討。 ②宿泊して楽しめるプログラムづくりの検討。 ③レンタサイクル借り受け・乗り捨て場所の整備及び連携強化について検討。 ④つかもと平成館改修に向けた事前調査。 ⑤観光関係者と連携し、各種観光パンフレットなどを統合したわかりやすい情報誌の検討。 ⑥土祭検討委員会の開催。民間主導のイベントへの協力。 ⑦益子大使を委嘱し、観光PR活動への促進。	②「益子木綿の工房」募集開始。西明寺地区、星の宮地区で現在メニューの検討中。H26の事業報告会で宿泊を盛り込んだメニュー開発を町から提案済。 ④つかもと「平成館」改修にあたり関係機関との打合せ実施。4/4土木事務所、4/7健康福祉センター、4/11益子分署、4/18消防本部、4/15環境森林事務所。 ⑤観光協会制作のパンフレット会議出席。 ⑥土祭検討委員会要綱制定。検討委員人選済み。 ⑥おもてなし補助金（陶器市巡回バス）4/21。 ⑥おもてなし補助金（陶器市直行バス）4/22。 ⑦町発行物の送付。				
	5月	⑤観光関係者と連携し、各種観光パンフレットなどを統合したわかりやすい情報誌の検討。 ⑥土祭検討委員会の開催。民間主導のイベントへの協力。 ⑦益子大使を委嘱し、観光PR活動への促進。	④「平成館」の設置浄化槽について打合せ。 地方創生事業 5/10「第1回栃木県陶磁器産地振興協議会」出席。 ⑤5/16第1回土祭検討委員会開催。 ⑥おもてなし補助金（夜市）5/23。 ⑥おもてなし補助金（ましこの旬夏祭）5/30。				
	6月		②益子「西明寺風土（foods）千年」物語の開催内容について打合せ。 ④6/3「平成館」の寄付に関する庁内打合せ。 ⑥6/27第2回土祭検討委員会開催。				
	7月	①仮）観光戦略検討実行委員会の開催。 ②宿泊して楽しめるプログラムづくりの検討。 ③レンタサイクル借り受け・乗り捨て場所の整備及び連携強化について検討。 ④つかもと平成館改修設計。 ⑤観光関係者と連携し、各種観光パンフレットなどを統合したわかりやすい情報誌の検討。 ⑥土祭検討委員会の開催。民間主導のイベントへの協力。 ⑦益子大使を委嘱し、観光PR活動への促進。	②「益子木綿の工房」開催（第3回）7/17。 ②益子「西明寺風土（foods）千年」物語の開催内容決定。 ④平成館設計業務発注 7/27 ⑦町刊行物の発送				
	8月	⑤観光関係者と連携し、各種観光パンフレットなどを統合したわかりやすい情報誌の検討。 ⑥土祭検討委員会の開催。民間主導のイベントへの協力。 ⑦益子大使を委嘱し、観光PR活動への促進。	②「益子木綿の工房」開催（第4回）8/21。 ②益子「西明寺風土（foods）千年」物語の参加者募集開始。 ④平成館基礎調査終了。調査報告及び設計打合せ 8/22。 ⑥おもてなし補助金（さんぽ市）8/15。 ⑦町刊行物の発送。				
	9月	⑥土祭検討委員会の開催。民間主導のイベントへの協力。 ⑦益子大使を委嘱し、観光PR活動への促進。	②「益子木綿の工房」開催（第5回）9/18。 ②益子「西明寺風土（foods）千年物語」（第1回）9/25。 ④平成館改修設計（案）作成。設計打合せ 9/6。 ⑥9/7 第3回土祭検討委員会開催。 ⑦町刊行物の発送。				
	10月		②「益子木綿の工房」（第6回）10/23。参加者10名。 ⑥第4回土祭検討委員会開催 10/12。 おもてなし補助金（新そばめぐり） 10/27。 ⑦町刊行物の発送。				
	11月	①仮）観光戦略検討委員会の開催 ②宿泊して楽しめるプログラムづくりの検討。 ③レンタサイクル借り受け・乗り捨て場所の整備及び連携強化について検討。 ④つかもと平成館改修工事。 ⑤観光関係者と連携し、各種観光パンフレットなどを統合したわかりやすい情報誌の検討。 ⑥土祭検討委員会の開催。民間主導のイベントへの協力。 ⑦益子大使を委嘱し、観光PR活動への促進。	②「益子木綿の工房」（第7回）11/20。参加者11名。 益子「西明寺風土（foods）千年物語」（第2回）11/13。参加者12名。 ⑥第5回土祭検討委員会開催 11/9。 おもてなし補助金（トレン益子） 11/2。 おもてなし補助金（ボタリングましこ） 11/18。 ⑦川口、仁村益子大使委嘱 11/5。 町刊行物の発送。				
12月		②「益子木綿の工房」（第8回）12/18。参加者12名。 ③仮）DC協議会（民間団体・町も参加）で検討。 ④平成館入札 12/8。 平成館現地打合せ 12/19。 ⑥第6回土祭検討委員会開催 12/7。 おもてなし補助金（雑めぐり） 12/13。 ⑦はが路マラソンへの参加 12/18。 ⑦川口、仁村ふれあいマラソン参加 12/18。 町刊行物の発送。					
1月		②益子「西明寺風土千年物語」（研修会）1/29。参加者9名。 ⑥第7回土祭検討委員会開催 1/11。 おもてなし補助金（DC旅行商品造成） 1/17。 ⑦益子大使委嘱（佐野圭作） 1/16 町刊行物の発送					
2月	①仮）観光戦略検討委員会の開催。 ②宿泊して楽しめるプログラムづくりの検討。 ③レンタサイクル借り受け・乗り捨て場所の整備及び連携強化について検討。 ④つかもと平成館改修工事。 ⑤観光関係者と連携し、各種観光パンフレットなどを統合したわかりやすい情報誌の検討。 ⑥土祭検討委員会の開催。民間主導のイベントへの協力。 ⑦益子大使を委嘱し、観光PR活動への促進。	②DC実行委員会設立 2/20。 ④平成館支援プロジェクト会議 2/20。 ⑥第8回土祭検討委員会開催 2/15。 ⑦町刊行物の発送。					
3月	⑤観光関係者と連携し、各種観光パンフレットなどを統合したわかりやすい情報誌の検討。 ⑥土祭検討委員会の開催。民間主導のイベントへの協力。 ⑦益子大使を委嘱し、観光PR活動への促進。	②益子「西明寺風土千年物語」（第3回）3/5。参加者13名。 ラーニングパッケージ事業報告会 3/23。 ③道の駅ましこにてレンタサイクル事業実施。連携について検討。 ④平成館H28事業完成 3/30。 ⑥第9回土祭検討委員会開催 3/8。提言書提出 3/23 ⑦益子大使委嘱（佐野圭作） 3/28 町刊行物の発送。					

P40 観光【観光客】

	③担当課の点検・検証 ②を踏まえ、取組の必要性、効率性、有効性、改善点などを洗い出し、現時点の課題整理まで行う。	④次期四半期(第4四半期は、次年度) 以降の課題への方針・改善点
第1四半期	①担当レベルで検討中。 ②体験型ツーリズムで木綿の工房は第2回まで予定通り開催終了。西明寺もラーバケ開催に向け企画中。 ③担当レベルで検討中。 ④平成館改修にあたり関係機関への事前調査済。町長・副町長と現場確認済み。 ⑤担当レベルで検討中。 ⑥土祭検討委員会第2回まで開催終了。 ⑦おもてなし補助金交付決定4件 ⑦委嘱済の大使についてはPR用観光資料を毎月送付。 参考：H28陶器市（10日間）：413,900人 H27陶器市（8日間）：357,097人	①会議設置に向け検討。 ②西明寺の開催内容が確定し次第、速やかに情報発信ができるよう検討。 ③担当レベルで検討。 ④平成館改修にあたり設計業務発注予定。 ⑤担当レベルで検討。 ⑥第4回土祭の開催に向け検討委員会で内容検討。 ⑦新規大使の委嘱に向け予定者との交渉・調整。
第2四半期	②体験型ツーリズム「木綿の工房」「西明寺風土千年物語」は計画通り開催。 ④平成館改修にあたり基礎調査終了。設計打合せ。改築設計（案）作成。 ⑥土祭検討委員会第3回まで開催終了。 ⑦おもてなし補助金交付決定4件 ⑦委嘱済の大使についてはPR用観光資料を毎月送付。	②開催通知等の適切な時期での情報発信が出来るよう準備を進める。 ④平成館改修工事発注予定（11月予定）。 ⑥土祭検討委員会は毎月1回開催し、前土祭・本土祭について検討していく。 ⑦新規大使の委嘱に向け予定者との交渉・調整。
第3四半期	②体験型ツーリズム「木綿の工房」「西明寺風土千年物語」は計画通り開催。 木綿の工房は全8回開催終了。 ④平成館改修にあたり設計書作成。入札。現地打合せ。 ⑥土祭検討委員会第6回まで開催終了。 ⑦おもてなし補助金交付決定4件 ⑦川口、仁村氏に益子大使委嘱状交付。 参考：H28陶器市（5日間）211,027人 H27陶器市（5日間）192,909人	②木綿の工房は開催終了。 西明寺風土千年第3回の開催通知等の適切な時期での情報発信が出来るよう準備を進める。 ラーニングパッケージについては、新規開催予定団体向けの募集及び説明会を検討。 DCに向け、組織や実施内容の検討。 ④平成館改修工事発注。今後の進捗状況の管理。 ⑥土祭検討委員会は毎月1回開催し、前土祭・本土祭について検討していく。 おもてなし補助金の適正な手続き。 ⑦新規大使の委嘱状交付の日程調整。新規交渉。次年度の活動内容検討。
第4四半期	②木綿の工房及び西明寺風土千年物語。2つの体験型ツーリズムは本年度事業分については計画通り実施され、事業報告会を開催した。 アンケートの結果より、7割を超える方が満足と回答し学習意欲も高い。 ③レンタサイクル事業を道の駅ましこで開始。連携を検討。 ④H28平成館改修事業完了。 ⑥土祭検討委員会より実行委員長へ提言書提出。 ⑦おもてなし補助金交付決定1件 ⑦木村、佐野氏に益子大使委嘱状交付。	②西明寺風土千年物語は交付金事業3年間終了。 木綿の工房は継続事業で次年度3年目 ラーニングパッケージについては、新規開催予定団体向けの募集及び説明会を検討。 ②DCに向け、実施内容の検討。 ③レンタサイクル事業を道の駅ましこで開始。連携の検討。 ④H29平成館改修内容について支援プロジェクト会議の開催。設計及び工事発注。 ⑥前土祭の実施に向け各地域委員会にて内容検討。 ⑦おもてなし補助金の適正な手続き。 ⑦新規大使の委嘱状交付の日程調整。新規交渉。次年度の活動内容検討。

		⑤外部検証委員からの意見・提言	⑥議会からの意見・提言	⑦外部検証委員・議会からの意見・提言を受けての次期(次年度)以降への方針・改善点
上半期	第1四半期	委員の検証及び意見・提言 ①継続性について このまま継続・・・4委員 改善・見直し、廃止・終了・・・なし ②意見・提言 宿泊者数をさらに増やすよう推進されたい。		①～⑦滞在型の観光地をめざし、観光施設の有効なPRと連携により、各事業の推進を図っていく。
	第2四半期			
総括(下半期も含む)	第3四半期	委員の検証及び意見・提言 ①継続性について このまま継続・・・4委員 改善・見直し、廃止・終了・・・なし ②意見・提言 宿泊者数について、大きな伸びがあったことからその要因を分析し、状況に応じ、KPIの修正を行われたい。		①～⑦滞在型の観光地をめざし、観光施設の有効なPRと連携により、KPIの見直しを視野に入れ事業の推進を図っていく。
	第4四半期も含む		P40 観光【観光客】	

新ましこ未来計画推進シート シート1【 計画・実施状況シート 】

課局名		観光商工課			
基本目標	風土に根ざした産業をつくる	政策	観光の基幹産業化		
施策	外国人観光客（インバウンド）の誘客	進捗状況	100%		
KPI	外国人観光客宿泊者数	本年度目標値	400人	現状値	722人
KPI		本年度目標値		現状値	
KPI		本年度目標値		現状値	
①年間計画（スケジュール・工程）		②実施内容・実績・成果			
主な取組内容	4月	①栃木県国際観光推進協議会と連携強化し、受入協力体制構築への検討。 ②外国人が町内で観光情報が閲覧できるよう、Wi-Fi環境整備の促進。 ③多言語に対応した案内看板・パンフレットなどの検討。 ④観光関係者及び他地域の観光協会などと連携し、国道121号線などを使った観光ルートの検討。 ⑤免税店、クレジットカード取扱店化研修会の開催に向けた検討。 ⑥ホスピタリティー研修の開催に向けた検討。			
	5月	④関東広域圏観光周遊ルート形成事業事業計画提出。 ⑤5/27「かさましこ観光協議会幹事会」出席。 ⑥5月中旬免税店化について商工会と打合せ。			
	6月	④6/27R121関係打合せ（米沢市と）。 ⑤6/2、6/21、6/28かさましこワーキング打合せ。 ⑤6/21「かさましこ観光協議会幹事会」出席。 ⑤6/28「かさましこ観光協議会総会」出席。 ⑤6/2クレジットカード化について商工会と打合せ。			
	7月	⑤7/15かさましこワーキング打合せ。 ⑤7/29「かさましこ観光協議会幹事会」出席。			
	8月	③8/29かさましこマップ・ツアー打合せ。 ④8/22関東広域圏観光周遊ルート形成事業申請。 ⑤8/22かさましこワーキング打合せ。 ⑤8/23免税店・クレジットカード取扱店化研修会開催。（7フレスト・参加者15名） ⑤8/25免税店・クレジットカード取扱店化研修会開催。（笠間公民館・参加者15名） ⑤8/29ホスピタリティー（おもてなしセミナー）開催。（益子館・参加者28名） ⑤8/30ホスピタリティー（おもてなしセミナー）開催。（おれぼり・参加者34名）			
	9月	③9/26かさましこマップ・ツアー打合せ。 ③9/26かさましこワーキング打合せ。 ④9/24、9/25なせばなる秋祭り出展。			
	10月	③かさましこマップ・ツアー・フリーペーパー打合せ。10/20。 ③かさましこワーキング打合せ。10/20			
	11月	③かさましこマップ・ツアー・打合せ。11/24。 台湾メディアツアーの実施 11/21~11/24。 10社13名参加+関係者1名。			
	12月	③かさましこプロモーションビデオ打合せ。12/16。 ③かさましこワーキング打合せ。12/16。 ④関東観光広域連携事業推進協議会。12/14。			
	1月	③かさましこプロモーションビデオ打合せ。1/27。			
	2月	③かさましこ留学生モニターツアー 2/16~2/18 2/21~2/23			
	3月	②町民会館及び陶芸メッセ・益子のWi-Fi環境整備。 ④関東観光広域連携事業推進協議会。3/27。			

	③担当課の点検・検証 ②を踏まえ、取組の必要性、効率性、有効性、改善点などを洗い出し、現時点の課題整理まで行う。	④次期四半期(第4四半期は、次年度) 以降の課題への方針・改善点
第1 四半期	①②③外国人誘客に向けWifi環境は整備済み。多言語ガイドブック整備済み。 ④関東広域圏観光周遊ルート形成事業認定。 ⑤⑥外国人受入体制の整備として免税店、クレジットカード、ホスピタリティーの各研修実施に向け関係団体と調整中。	①②③外国人誘客の受入態勢整備についてのPR。 ④関東広域圏観光周遊ルート形成事業において周遊観光ルートの整備・検討。 ⑤⑥免税店、クレジットカード、ホスピタリティー各研修の8月実施に向け調整。
第2 四半期	③8/29かさましこマップ、留学生ツアー打合せ。 ④8/22関東広域圏観光周遊ルート形成事業申請。 ⑤8/22かさましこワーキング打合せ。 ⑥8/23、8/25 免税店・クレジット取扱店化研修会開催。 ⑦8/29、8/30 ホスピタリティー（おもてなしセミナー）開催	③かさましこマップ、留学生ツアー内容の検討。 ④関東広域圏観光周遊ルート形成事業 事業実施に向け調整。
第3 四半期	③かさましこマップ、留学生ツアー、フリーペーパー打合せ。 かさましこワーキング開催。 ④関東広域圏観光周遊ルート形成事業申請。	③かさましこマップ、留学生ツアー内容の検討。 ④関東広域圏観光周遊ルート形成事業 事業実施に向け調整。
第4 四半期	③かさましこフリーペーパー、MAP、プロモーションビデオの多言語版制作。 ④平成29年度 関東広域圏観光周遊ルート形成事業申請。	③インバウンド誘客促進事業の検討。 ④関東広域圏観光周遊ルート形成事業「東京大回廊」の推進。

		⑤外部検証委員からの意見・提言	⑥議会からの意見・提言	⑦外部検証委員・議会からの意見・提言を受けての次期(次年度)以降への方針・改善点
上半期	第1四半期	委員の検証及び意見・提言 ①継続性について このまま継続・・・4委員 改善・見直し、廃止・終了・・・なし ②意見・提言 実施計画に沿い各課連携を図られ実行されたい。		①②③④⑤関係団体と連携し、事業の推進を図っていく。
	第2四半期			
総括（下半期も含む）	第3四半期	委員の検証及び意見・提言 ①継続性について このまま継続・・・4委員 改善・見直し、廃止・終了・・・なし ②意見・提言 外国人宿泊者数について、大きな伸びがあったことからその要因を分析し、状況に応じ、KPIの修正を行われたい。		①～③外国人観光客のニーズに対応し、受け入れ体制の整備を図っていく。 ④⑤関係団体と連携し、事業の推進を図っていく。
	第4四半期も含む			